

第3部 設計事例集

1 静岡県立浜松大平台高等学校

利用者への「温もり」「わかりやすさ」「使いやすさ」に配慮した学校

静岡県立浜松大平台高等学校は、ユニバーサルデザインを活かし、生徒、教職員及び地域開放利用者の全ての人にとって「温もりを感じ」、「わかりやすく」、「使いやすい」施設となっている。

- ・ 生徒ホールでは、各所で木材を採用し温かみのある交流スペースとなっている。また、手に触れる階段などの手摺には集成材を採用している。
- ・ 地域開放利用者が迷うことなく施設を利用できるように、わかりやすいグラフィカルなサイン計画を行っている。
- ・ 多機能トイレ及びエレベーターは各棟各階に設置していて、施設のどこに居ても利用しやすい配置計画となっている。また、雨天時には濡れることなく移動できるようにインナーの渡り廊下で各棟を繋いでいる。
- ・ 県では、「しずおかUD行動計画 2010」を策定し、この中に県立学校の整備に関する施策を位置づけている。

用 途	高等学校
所 在 地	静岡県浜松市大平台
設 計 者	株式会社 松田平田設計
構 造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、木造
階 数	地上 4 階
敷地面積	64,847.34 m ²
建築面積	10,199.63 m ²
延床面積	19,857.78 m ²
竣 工	2006 年 3 月



A 渡り廊下
雨天時に濡れることなく移動ができる様に各棟を渡り廊下で繋いでいる。

B 生徒ホール
生徒、教職員及び地域開放利用者の交流の場となる生徒ホールは、温もりのある木質空間(一部県産材)としている



F 受付
車椅子利用者が利用しやすいように受付カウンターの高さを低くしている



C サイン
グラフィカルで見やすいサインを各所に設置している



K 多機能トイレ
オストメイト対応の多目的トイレには、地域開放利用に配慮しベビーシートやベビーチェアを設置している。また、各棟各階に設置している。



- 県のUD計画に則った計画的なバリアフリーの推進
- 高等学校のユニバーサルデザインモデル



C 渡り廊下(内部)

県産材を使用した明るく温かみのある渡り廊下は、ゆとりのある廊下幅を確保している



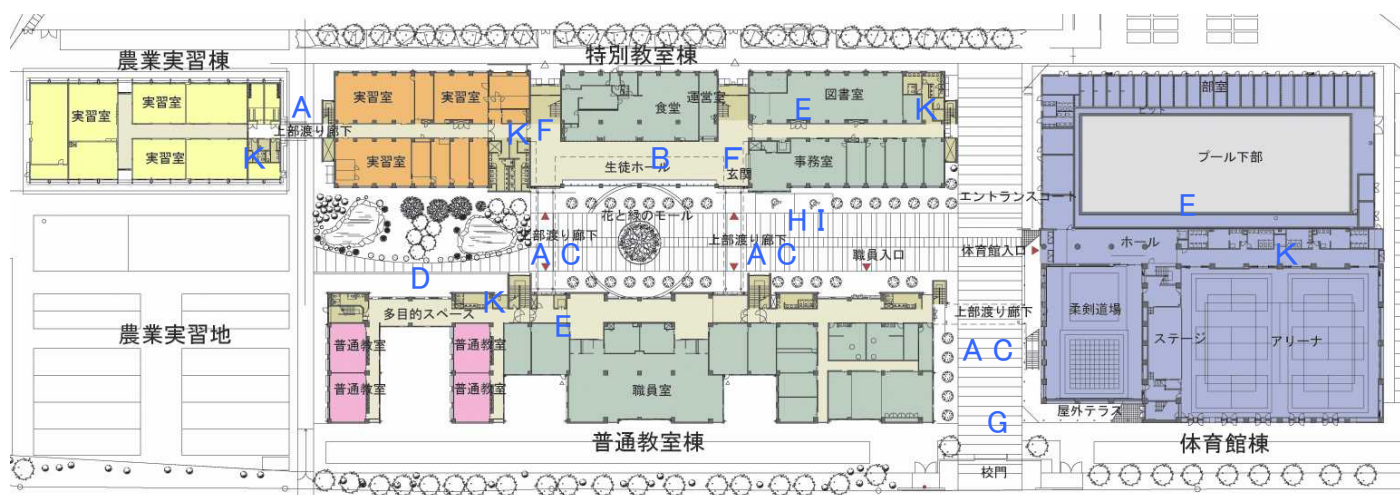
D 多目的スペース

生徒同士の交流の場となる多目的スペース



E エレベーター

利用者の利便性に配慮し、各棟に配置している



1階平面図

「しずおかUD行動計画 2010」における学校関係施策計画(計画期間平成 15-22 年)

● 県立学校のUD整備計画

(現状値 H15→目標値 H22 年)

- ・ スロープ、視覚障害者誘導用ブロック、階段、手すり、車椅子使用者駐車場 73%→100%
- ・ 車椅子使用者用トイレ 46%→60%
- ・ 自動ドア 20%→40%
- ・ エレベーターの整備 21 校→26 校

● 学校における優先順位

- ・ 原則として校舎改築とセットで実施
- ・ 加えて障害のある生徒の入学時に整備

● 学校施設のUD整備の基本方針

- ・ エレベーターは校舎改築に際し 1 校 1 基を整備
- ・ 車椅子使用者用トイレ及び自動ドアは校舎改築または耐震補強工事に際して 1 校 1 カ所を整備
- ・ 上記は障害がある生徒が入学したとき及び在校生に障害が発生したときにも実施
- ・ スロープ、階段手すり、視覚障害者誘導用ブロック、車椅子使用者用駐車場は耐震補強に際し全校に整備

2 西葛西・井上眼科病院

視覚障害者等の利用しやすいさの向上に継続的に取り組む眼科病院

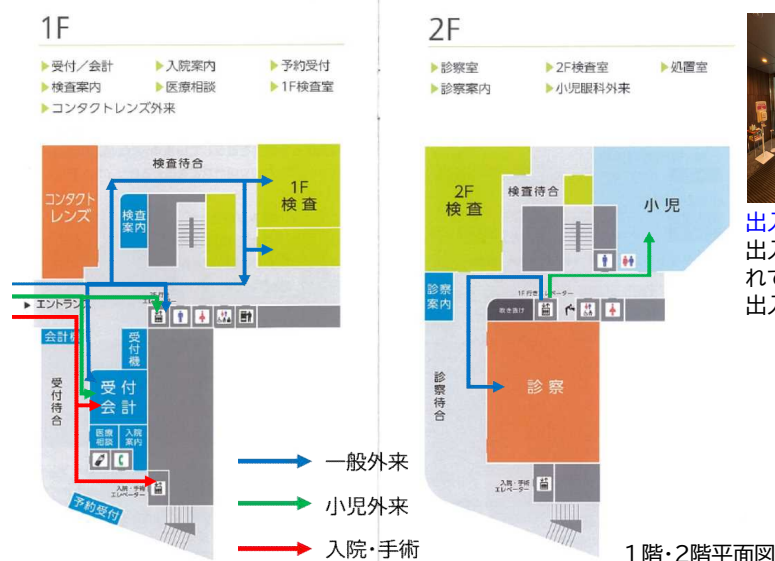
西葛西・井上眼科病院は、外来（一般、小児、コンタクト）と入院・手術に対応する地域密着型の「眼」の総合病院である。

「視覚」「聴覚」「触覚」で分かるデザイン、視覚障害者等の利用に配慮したゾーニング、患者への調査に基づいたサインや音案内等が採用されている。

用 途	病院
所 在 地	東京都江戸川区西葛西
発 注 者	医療法人社団済安堂 井上眼科病院グループ
設 計 者	鹿島建設株式会社
構 造	RC 造一部 S 造
階 数	地上 4 階、地下 1 階
敷地面積	1,442.04 m ²
建築面積	795.72 m ²
延床面積	3,438.21 m ²
竣 工	2015 年 1 月
病 床 数	32 床
付帯施設	駐車場 12 台（うち車椅子使用者用駐車施設 1 台）

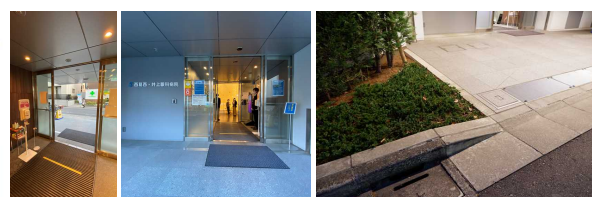


施設外観



明快な動線計画

一般外来、小児外来、入院・手術の動線が交わらないように配慮されている。



出入口での誘導

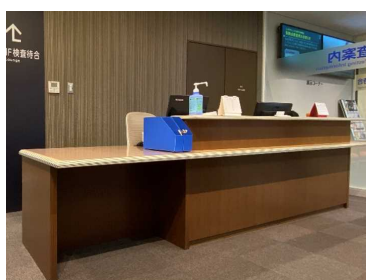
出入りの時に音で案内する装置により視覚障害者の誘導が行われている。スタッフによる人的誘導も行われている。出入口から道路側へ向け縁石が切り下げられている。

縁石の切下げ



色分けによるゾーニング

受付はブルー、外来はオレンジ、検査はグリーンと、エリア別に地図やソファ、照明の色を変えることでゾーニングしている。



車椅子使用者が利用できる待合・受付

受付カウンターの下部には車椅子使用者の膝が入るスペースが確保されている。検査待合スペースには車椅子使用者が利用できる空間が設けられている。



ストレッチャーが入るエレベーター

かご（15人乗りで、幅150cm・奥行き250cm）は、ストレッチャーが入る大きさとなっている。操作ボタンのサイズは目の見えづらい人にも押しやすい、直径6cmとなっている。

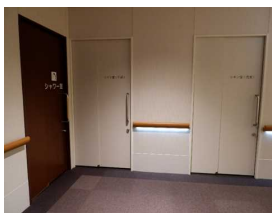
視覚障害者に配慮した動線の表示

足裏の感触等（固い・柔らかい）や足音、白杖で床を確認する音で動線が分かるよう、カーペットにひし形の塩ビタイルが埋め込まれている（床に凹凸がないため、車椅子使用者や弱視者（ロービジョン）の方が躓きにくい）。塩ビタイルの白ラインは進行方向を示しており、通路の交差点部やエレベーターの前にはサイズの大きなタイルが埋め込まれている（単独で院内を移動できない視覚障害者には人的誘導も行っている）。動線上にはダウンライトが設けられ、光が塩ビタイルに反射することで光の道筋をつくっている。

- 分かりやすい動線計画・ゾーニング、「視覚」「聴覚」「触覚」による快適で安全性を重視した空間づくり
- 利用者アンケート等を通じた、継続的な改善の取組み(スパイラルアップ)



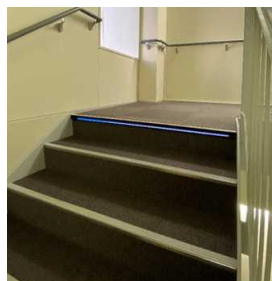
避難誘導手すりを設けた廊下
火災時には避難方向が分かるよう、手すり下に埋め込まれた照明が火災報知機と連動し、避難方向に向かって光が点滅するようになっている。
患者が便所や自分の病室を分かりやすいよう、扉の案内表示には光が当てられている。



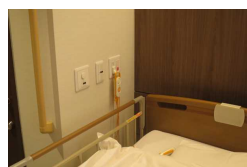
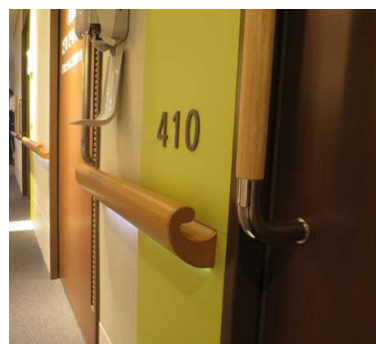
視認性に配慮した配色の扉
患者が見つけやすいよう、患者が利用する室の扉と壁のコントラストが確保されている。(患者が利用しない扉は壁と同系色)



視認性に配慮した案内表示
見やすさに配慮し、館内の案内表示は濃い色の背景に白い文字となっている。



階段
段の始まりを分かりやすくするため、避難階段の最上段には LED 照明が設けられている(その結果、踏み外し防止にも繋がっている)。

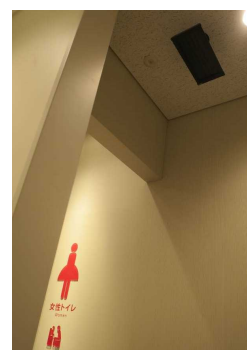


病室内
照明やナースコールなどのスイッチは、操作しやすいように枕元にまとめて設けられている。

分かりやすさに配慮した病室出入口
部屋番号を見つけやすいよう、病室前の手すり近くには浮き出し文字が付けられている。
出入口を分かりやすくするため、各室の出入口近くの床の色を変えている。



便所(共通)
設備や手すりと便器後方の壁、手すりの色にコントラストをつけることで、視認性を高めている。
紙巻器、便器洗浄ボタン、呼出しボタンは、JIS S0026に基づき配置されている。
1 階、2 階には車椅子使用者用便房が設けられている。



一般便房の出入口(音声誘導・サイン表示)
便所の出入口には男性用と女性用で異なる音色を流した指向性のあるスピーカーが設けられ、男女の識別への配慮が行われている。
患者にいくつかの案を実際に利用してもらい、音声による男声コーラスと女声コーラスが採用された。
目の見えづらい患者に配慮し、便所出入口には立体的なサインも設けられている。

スパイラルアップ(約200名の利用者アンケートに基づく、開業後の改善)



● 1 階エントランスのエレベーター
患者の動線からエレベーターが認識しづらいとの指摘から、エレベーター前に LED ライトを設け、点灯させた。
その結果、認識率は 77% から 92% に向上した。



● 2 階 便所
サインが見えにくいとの指摘から、遠くからでも認識できるようサインが追加された。
いくつかの案を作成し、改良案のサンプルを 1 ヶ月仮設して、より認識しやすいサインが採用された。

3 国立競技場

障害の有無に関わらず、安心して快適に競技や観戦を楽しめるスポーツ施設

国立競技場は、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて整備されたスポーツ施設である。整備にあたっては、設計・施工 JV と障害者団体等(14 団体)とのユニバーサルデザインワークショップ(UDWS)が行われた。UDWS では設計図による検証に加え、数々の実物大の検証模型やサンプル等も用い、細部にわたって確認と検証を行い、障害者団体等の要望に配慮されている。

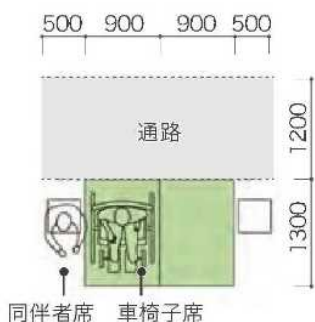
用 途	観覧場
所 在 地	東京都新宿区霞ヶ丘町
建 築 主	独立行政法人 日本スポーツ振興センター(JSC)
設 計 者	大成建設・梓設計・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体
構 造	鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造
階 数	地上 5 階、地下 2 階
敷地面積	約 10 万 9800 m ²
建築面積	約 6 万 9600 m ²
延床面積	約 19 万 2000 m ²
竣 工	2019 年 11 月



提供:独立行政法人日本スポーツ振興センター
施設外観

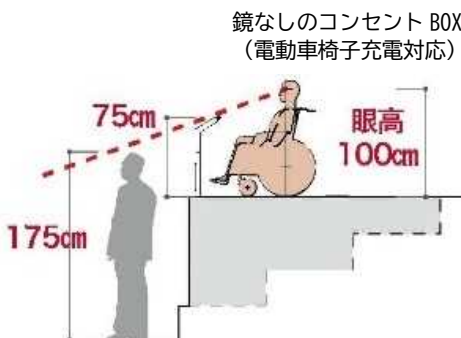
車椅子使用者用客席の配置

車椅子使用者用客席は各層にバランスよく配置されている。



同伴者席 車椅子席

同伴者に配慮した車椅子使用者用客席
車椅子使用者用客席2席が隣り合う座席配置とし、コンコースから段差なくアクセス可能となっている。



車椅子使用者用客席のサイトライン

前列席の人(身長 175cmを想定)が立ち上がった状態でも、車椅子使用者用客席の視界を妨げない計画とされ、フィールド全体が視認できる。



提供:独立行政法人日本スポーツ振興センター
車椅子使用者用客席の電動車椅子充電対応
充電は、鍵なしで自由に使用可能となっている。



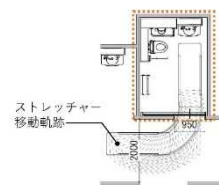
縦通路の視認性向上

置き段の横は薄色、段鼻は濃色での塗装となっている。



集団補聴設備の分散配置

席のバリエーションを確保するため、縦通路に平行に配置されている(南北どちらかの大型映像が見えることを確認)。



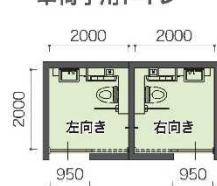
ストレッチャー対応トイレ
(幅約 2.1m×奥行約 3m 弱)
ストレッチャー対応のトイレは、管理事務所の近くの南側に 1ヶ所設けられている。

座席点字プレート

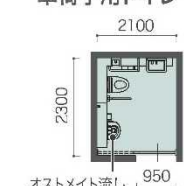
視認性・触りやすさの観点から、座面先端部に設けられている。

- 設計・施工段階で、障害者等の関連団体の意見を取り入れ、細やかな配慮を行った整備事業
- パラリンピック開催時には全客席数に対して約1.3%の車椅子使用者用客席を確保

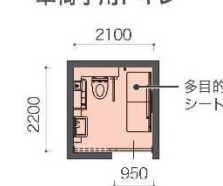
① 使う向きに配慮した車椅子用トイレ



② オストメイト対応車椅子用トイレ



③ 多目的シート対応車椅子用トイレ



④ 多目的シート・オストメイト付車椅子用トイレ



⑤ 男女共用トイレ

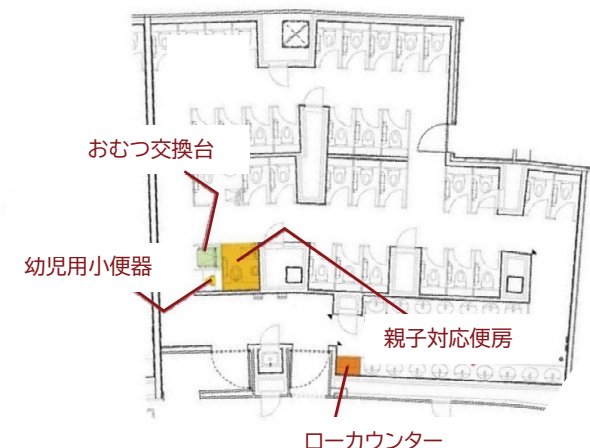


様々な利用者を想定した5タイプのアクセシブルトイレ

モックアップによる動作検証で、数種類の便所、更衣・シャワー室が計画されている

視覚障害者が配置を把握できるよう、原則すべてのブースに JIS-S0026 型の洗浄ボタンが採用されている。

全ブース内に手すりを設け、手すり付小便器は、各便所入口に近い場所に1か所以上設けられている。



親子対応便房

一般便所内にベビーカーの乗り入れ対応等が可能な親子対応便房が設けられている(折戸対応、原則出入口付近)。おむつ交換台、ローカウンター、親子対応便房、女性用トイレ内の幼児用小便器は近接配置されている。



異性付添利用者への対応

便房内における利用者と待機者等の視線を遮るためのカーテン及びカーテンレールが設けられている。



授乳室

車椅子使用者が利用できるよう、扉をなくしてカーテンレールが設けられ、調乳台には車椅子使用者が寄り付けやすいスペースが設けられている。床仕上げはビニル床シート(車椅子使用者対応)となっている。



補助犬トイレ(外部)

補助犬トイレは、外部と内部に1か所ずつ配置されている。広さは約 2×5m で、視覚障害者へのアクセス性に配慮し、視覚障害者誘導用ブロックが敷設されている。



分かりやすいサイン計画

分かりやすくシンプルな構成、色が誘導の判断材料とならないようなグラフィック計画とし、視認性に配慮したフォントが採用されている。

サインに向く向きとマップの向きを整合させるとともに、自身の位置が表記されている。

UD を必要とする利用者 サインにおける主な配慮点(例)

- 全盲の人 …… 触知図、音声ガイド、誘導ブロックなど視覚以外の情報を提供
- 弱視の人 …… 表示面、表示内容が大きくコントラストの強いものに
- 聴覚障害者 …… 視覚情報を提供
- 車椅子使用者 …… ゆっくり安全に見られる場所を確保
- お年寄り・子供 …… 低い視点を確保
- 外国人 …… ピクトグラムで表現(一部多言語の併記)
- 知的障害者 …… シンプルな情報表示
- その他 …… 案内所にインターホンを設置

出典: 独立行政法人日本スポーツ振興センター

国立競技場整備事業におけるユニバーサルデザインワークショップについて

<<https://www.jpnsport.go.jp/newstadium/Portals/0/sonota/universaldesignworkshopnitsuite.pdf>>

「国立競技場について」

<<https://www.jpnsport.go.jp/kokuritu/Portals/0/kokuritu/project-summary/kokuritsukyougijounitsuite.pdf>>

4 広島市民球場

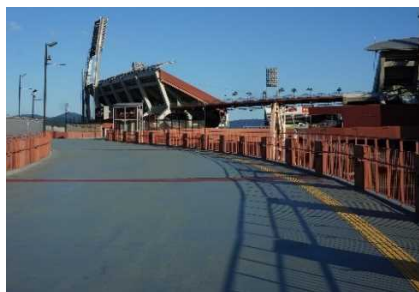
老若男女、誰もが観戦を楽しめる野球スタジアム

本施設は、旧広島市民球場の老朽化、機能面の課題を解決し、広島市の文化・社会的中枢拠点機能の充実・強化に寄与するために計画されたものである。(最大観客定員 33,000 人)
これまでの球場にない新たな魅力を有する施設として、選手と観客が一体となって感動と興奮を体感できるとともに、ユニバーサルデザインに配慮し、障害者を含め老若男女誰もが楽しめるスタジアムとなっている。
ハード面の配慮とともに、運営主体であるプロ野球球団によるホスピタリティスタッフの配置等、ソフト面の対応の充実が図られている。

用 途	観覧場
所 在 地	広島県広島市南区南蟹屋
発 注 者	広島市
設 計 者	(株)環境デザイン研究所
構 造	鉄筋コンクリート造、 PCコンクリート造、 鉄骨造
階 数	地上 7 階、地下 1 階
敷 地 面 積	50,472.42 m ²
建 築 面 積	22,964.48 m ²
延 床 面 積	39,524.01 m ² (竣工時)
竣 工	2009 年 3 月



A 施設外観



B 駅からメインゲートへ向かうスロープ
広島駅方面から 3 階にあるコンコースまで、メインゲートを介して段差のないアプローチを確保している。(勾配 5%)



C 車椅子使用者用駐車施設(34 台)
車椅子使用者用駐車施設は 2 カ所に分けて配置している。予約の際に伝えておくと、ホスピタリティスタッフ(下記参照)が席まで案内誘導をする。



D 大型エレベーター
利用者アンケートに基づき、3階のコンコース・観覧席に至るエレベーター(26 人乗 高齢者・障害者優先)を 2014 年に増築した。



E サービスカウンター
車椅子使用者用カウンターを併設している。



F 球場内を 1 周するコンコース(3 階)
平坦で十分な幅(内野 12m、外野 8m)のコンコース沿いに、飲食売店、多機能便房、車椅子使用者用観覧席等が設けられている。



G ベビーカー置場
コンコース沿いに 4 カ所のベビーカー置場を配置している。



H 多機能便房
大型ベッドや乳幼児用ベッドを備えた多機能便房(計 24 カ所、うちオストメイト用設備を有する便房 12 カ所)を配置している。



I 授乳室(2 カ所)
授乳スペース、流し台、おむつ替え台、おむつ用ダストボックスを設置している。

J ホスピタリティスタッフ

安心して野球観戦を楽しむために、プロ野球の試合の際には、常時ホスピタリティスタッフが球場に待機している。



《主なお手伝い内容》

- ・入退場の手伝い
- ・座席への案内
- ・観戦中の移動のお手伝い
- ・車椅子の貸出
- ・ブランケットの貸出

- 車椅子使用者用観覧席、エレベーター・便所・売店等をコンコースに沿って配置
- 多様な観覧席の計画やサービスの提供により、車椅子使用者を始め、誰もがスポーツ観戦を楽しめる場を提供



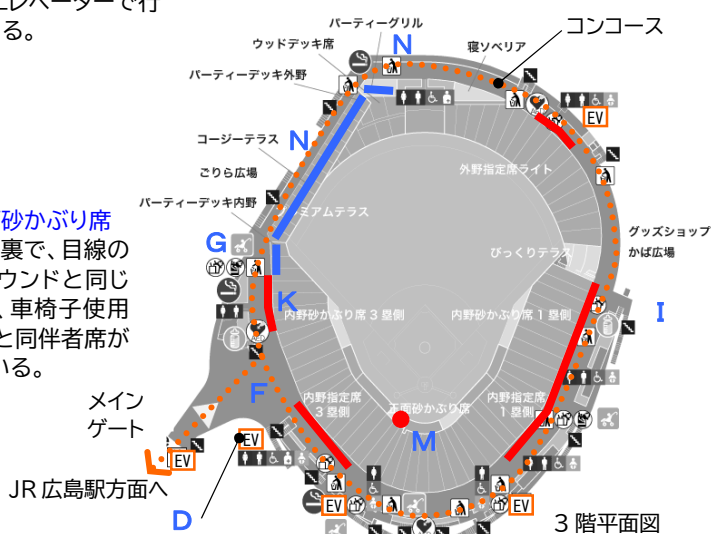
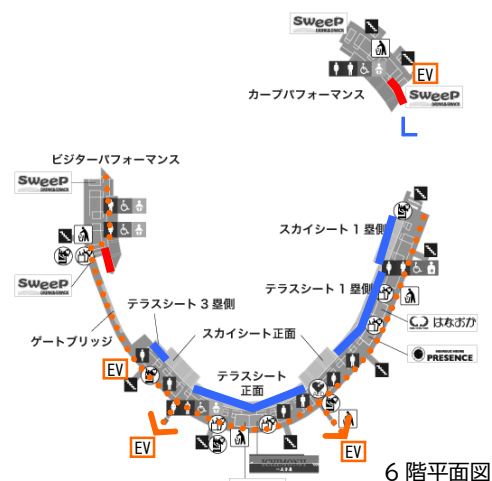
K 3 階車椅子使用者用観覧席
コンコースに沿って、車椅子使用者用観覧席を、内野・外野、ホーム・ビジター側に設置している。
同伴者には、可動座席を設置して対応する。
飲食しながら試合を観戦できるよう、トレイが設置できるようになっている。



L 6 階車椅子使用者用観覧席
ホーム側、ビジター側に車椅子使用者用観覧席が設けられている。
観覧席にはエレベーターで行くことができる。



M 車椅子正面砂かぶり席
バックネット裏で、目線の高さがグラウンドと同じ位置にあり、車椅子使用者用観覧席と同伴者席が設けられている。



N 家族や仲間と観戦を楽しむ、バラエティに富んだ観覧席
スタジアムの各所に、食事等しながら観戦できる観覧席(床段差を解消)を設けてあり、車いす使用者も家族や仲間と観戦を楽しむことができる。
また内野・外野の計 4 ヶ所、約 1,000 席に、集団補聴システム(磁気ループアンテナ)を設置している。

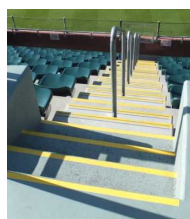
シート(観覧席)のバリエーション

車椅子使用者用観覧席 (142 席)	車椅子使用者も利用可能な観覧席エリア
コンコース 134 席(内野 1 塁側、内野 3 塁側、外野ライト側)	パーティーデッキ、パーティーフロア、テラスシート 2 段目、コージーテラス、ウッドデッキ 1 段目、パーティーグリル等
正面砂かぶり席:1 席	
カープパフォーマンス:3 席	
ビジターパフォーマンス:4 席	

※車椅子使用者用観覧席(142 席)の席数は、平成 26 年シーズンのものであり、シーズンによって席数は異なる。



パーティーグリルに設けられた段差解消機



O 通路
段鼻の色を変えて段をわかりやすくし、手すりを設置している。



P 一般観覧席
ゆったり観戦できるように、シート横幅:50cm、奥行:85cm を確保している。
座席表示は、文字の大きさ、色のコントラストに配慮したものであるとしている。



5 刈谷市総合文化センター

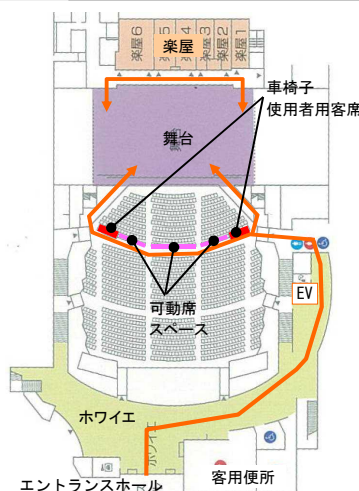
車椅子使用者、聴覚障害者の利用に配慮したホールをもつ複合施設

駅前再開発の一環として整備された複合施設で、大小のホールと生涯学習施設、駐車場棟からなる。実際に利用する市民団体、障害当事者団体、支援団体等から意見を集め、市と都市再生機構、県で構成する「ユニバーサルデザイン検討会」で検討を重ねて、設計に反映した。反映した内容は、「ユニバーサルデザイン体験会」を展示会形式で開催し、利用者の目線でチェックを受けている。

用 途	劇場
所 在 地	愛知県刈谷市若松町
発 注 者	独立行政法人 都市再生機構中部支社
設 計 者	(株)東畑建築事務所
構 造	SRC造、S造
階 数	地上5階、地下1階
敷地面積	11,765 m ²
建築面積	7,997 m ²
延床面積	22,767 m ²
竣 工	2009年8月

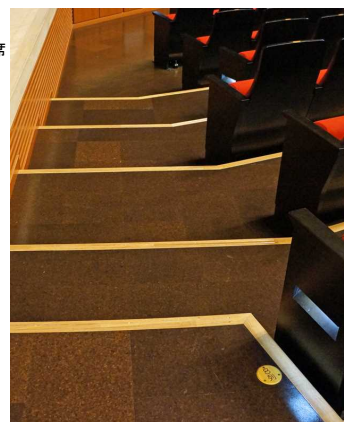


A 施設外観



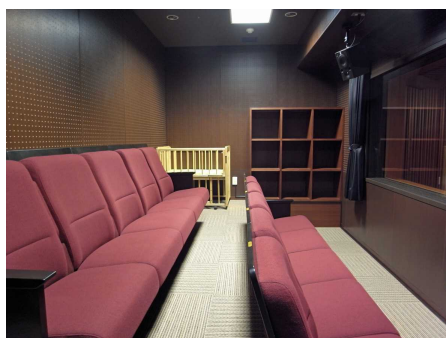
B 大ホール(1541席) 車椅子使用者用客席、客席から段差無しで舞台につながるルート

エントランスホール、ホワイエから客席まで、段差なくアクセスでき、車椅子使用者用客席から段差無しで舞台に上がることができる他、楽屋にも舞台から段差なくアクセスできる。車椅子使用者用客席を2箇所に分散し、合計8席設けているほか、同列の客席は多様な対応が可能なよう、全て可動席スペースとしている。



C 客席の通路

段鼻と踏面の色彩を塗り分け、段差があることをわかりやすく表示している。



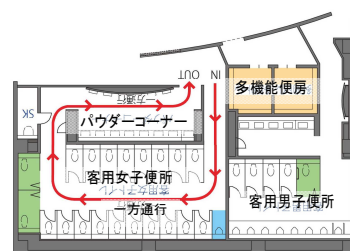
D 親子鑑賞席

独立した親子鑑賞席を設け、子どもの入場制限のある場合に配慮している。



F 女子便所ブースの旗状表示

大ホールに近接し混雑が予想される女子便所は、利用を円滑にするため一方通行としており、空き便房がわかりやすい旗状表示板を設置している。



E 磁気ループとFM 福祉電波の受信機
障害者の利用に配慮し全席で磁気ループ、FM福祉電波による鑑賞補助が利用可能となっている。



G 多機能便房、乳幼児連れに配慮した便房

壁を暗色に、衛生陶器を白色にして、弱視者にわかりやすい配色としている。

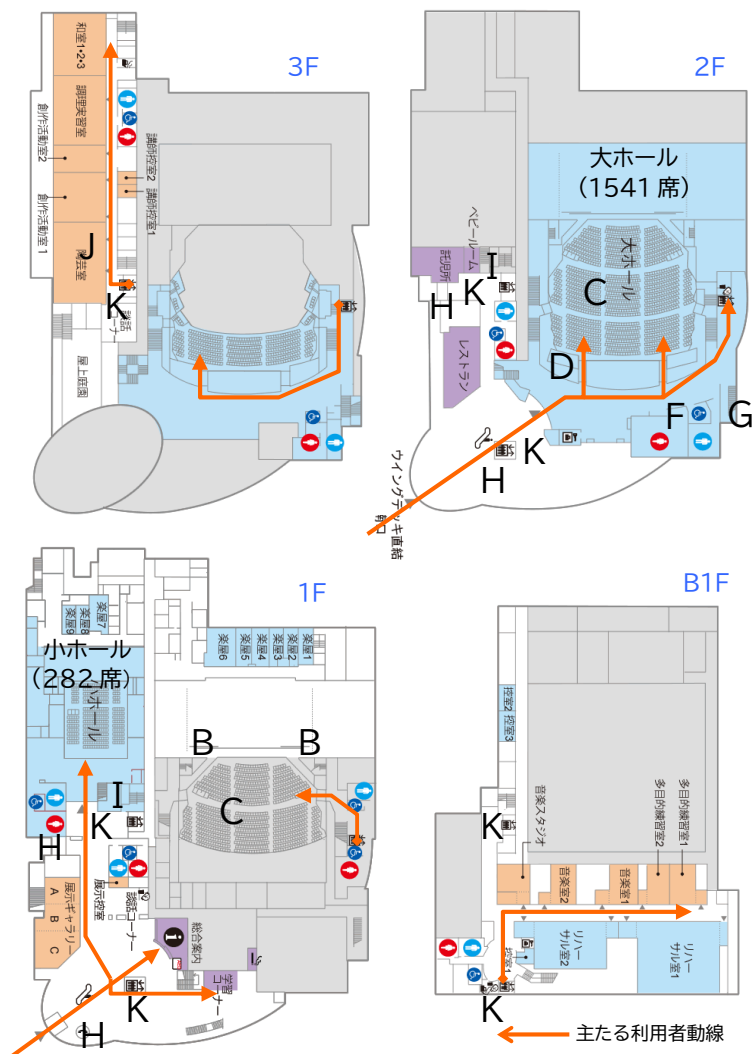


- 利用者の意見を施設計画の段階から取り入れ、ユニバーサルデザインの視点から施設設計、整備を行い、障害者や高齢者も利用しやすい文化振興と生涯学習の拠点を実現



H 案内カウンター

総合案内(上)は施設の1階中央に設置されているため、主要な出入口4箇所にはサテライトカウンターを設置している。
サテライトカウンターには、対応者がいない時のためにインターフォンを設置している。



I エレベーターホールの案内表示

聴覚障害者等に配慮し、非常時の情報等も表示できる、情報案内画面が組み込まれている。



J 出入口

主要な部屋の扉位置がわかりやすくなるよう、床や壁のデザイン、照明を工夫している。
また壁と床の境がはっきりするよう、床端部と巾木を濃色としている。
各室の出入口にも情報案内画面が組み込まれている。



K エレベーター

上腕に障害のある方のためのフットスイッチを設けている。

6 カスミ筑波大学店

車椅子使用者、性的マイノリティ、外国人を含む多様な利用者への配慮を行ったスーパーマーケット

カスミ筑波大学店は、筑波大学内に設けられた学生や教職員がメインターゲットのスーパーマーケットである。多様な利用者を想定し、便所には男女別の便房(各1)の他に性別を問わずに利用できる男女共用の便房が3つ設けられている。店舗内には車椅子使用者が円滑に利用できるゆとりある通路幅が確保され、案内板や値札には見えやすい大きな文字が採用されている。

用 途	物販販売業を営む店舗
所 在 地	茨城県つくば市天久保
建 築 主	株式会社 カスミ
設 計 者	株式会社 中山設計事務所
構 造	鉄骨造
階 数	地上1階
敷地面積	3,305.78 m ²
建築面積	999.4 m ²
延床面積	965.8 m ² (売場面積 768.5 m ²)
竣 工	2018年9月
付帯施設	サザコーヒーアリアンサ店
そ の 他	駐車場 19 台(うち車椅子使用者用駐車施設 1 台) 駐輪場 80 台



施設外観



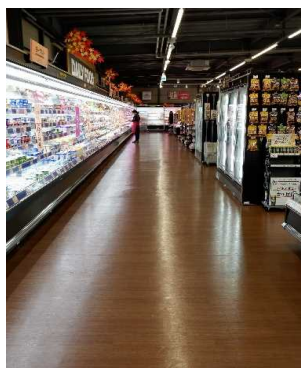
出入口

道路から店舗の出入口まで、戸の前後に高低差はない。出入口近くの壁面の車椅子使用者が利用できる高さには、インターホンが設けられており、ボタンを押すと従業員が携帯している端末へコールが入る仕組みとなっている。



セルフレジ

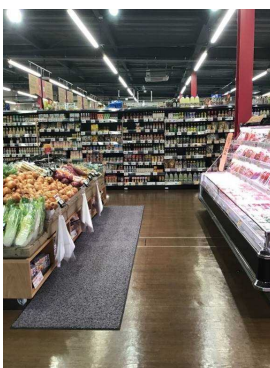
完全キャッシュレス決済店舗である。レジには従業員を常に配置し、個別対応を行っている。



幅:235cm



幅:120cm



幅:160cm

車椅子使用者が利用できる通路

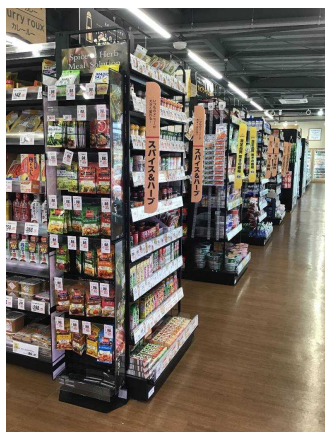
商品棚間は、車椅子使用者が円滑に利用できる通路幅員 120cm以上が確保されている。



高さ:60cm

商品棚

商品棚の一部は車椅子使用者が選びやすい高さ、奥行きとなっている。スタッフによる購買サポートも行われている。

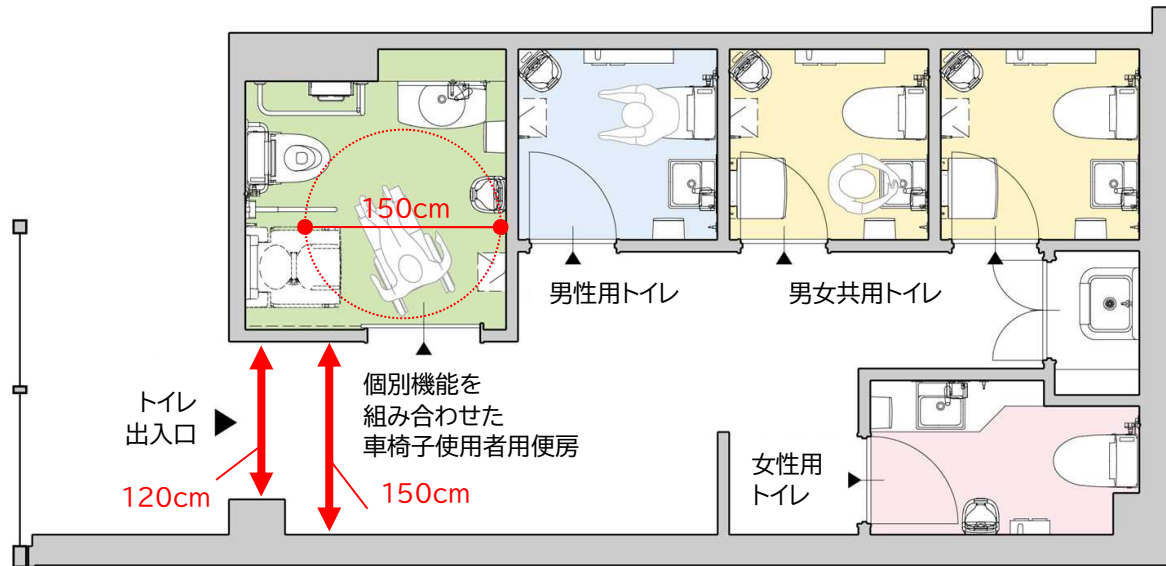


商品名や値札等の表示

棚側面の案内板の高さは 132cm 程度で、車椅子使用者の見やすい位置に取り付けられている。筑波大学の留学生が多く来店するため、天井吊りの案内板には英語が大きく表示されている。大きくわかりやすい文字が用いられている。



- ゆとりある通路幅員と、見やすく分かりやすい商品名や値札等の表示
- 車椅子使用者、性的マイノリティ、外国人を含む多様な利用者が使いやすい男女共用の便所を整備



平面図 株式会社 LIXIL 作成

便所(共通)

男性用・女性用の便房(各1箇所)、男女共用の便房(2箇所)、車椅子使用者用便房(1箇所)が設けられている。すべての便房が広めの個室となっており、乳幼児用椅子が設けられている。

男女共用便房は、異性の子どもと一緒に利用することも想定しており、着替え台も設けられている。



案内表示(全体)

便所出入口の案内図、便房の戸には、ピクトグラムで設備内容が分かりやすく表示されている。



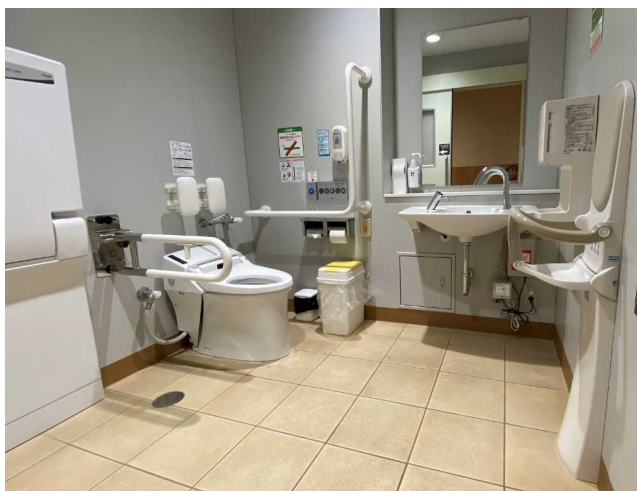
男女共用等のサイン表示



乳幼児用椅子+着替え台



分かりやすい各種設備の操作ボタン(多言語表記)



個別機能を組み合わせた車椅子使用者用便房

車椅子使用者用便房の出入口前には、車椅子使用者が方向転換できるよう 150cm の幅員が確保されている。車椅子使用者用便房には、オストメイト簡易型設備、乳幼児用設備が付加され、出入口の戸に設置された設備や機能をピクトグラムでサイン表示している。出入口の戸は引き戸となっており、取っ手の形状は握りやすい押棒である。戸には大きめのレバーハンドル錠が設けられている。

7 アイン薬局 桜川店

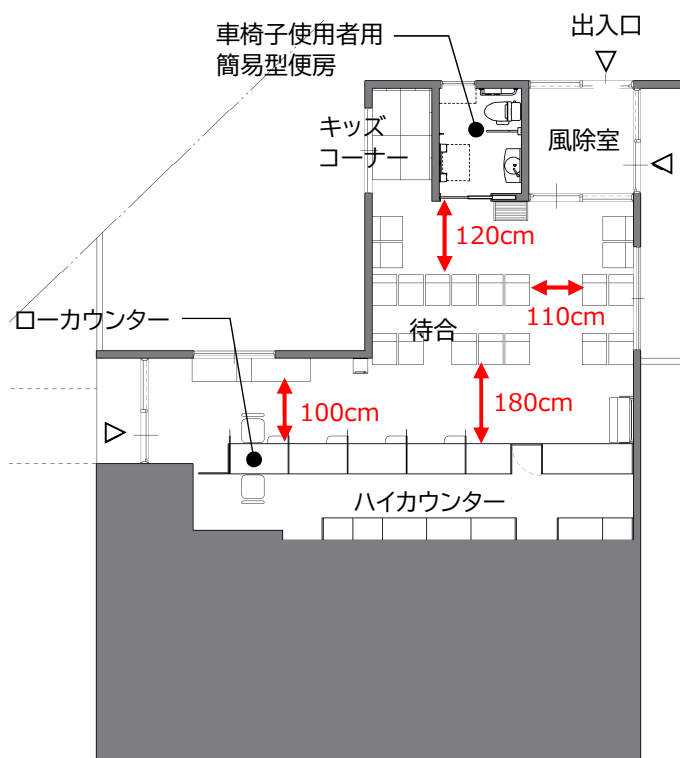
高齢者や車椅子使用者、乳幼児連れ利用者への配慮を行った調剤薬局

アイン薬局 桜川店は、地域医療センターと歯科に隣接する薬局である。
車椅子使用者が利用できるローカウンターと車椅子使用者用便房が設けられている。
利用者が選択できるよう、ゆとりある幅員の通路に面してハイカウンターとローカウンターが設けられている。

用 途	日用品販売店舗等(調剤薬局)
所 在 地	茨城県桜川市高森
発 注 者	株式会社アインファーマシーズ
設 計 者	株式会社 andHAND 建築設計事務所
構 造	木造
階 数	地上1階
建築面積	119.24 m ²
延床面積	117.17 m ²
竣 工	2018年9月



施設外観



店舗平面図



アクセスしやすいゆとりある通路

カウンターの背後の通路、待合の椅子と椅子の間の通路には、車椅子使用者が通行しやすい幅員が確保されている。



衝突防止策等を講じた出入口

有効幅員は 85cm、戸はガラスの自動式の引き戸が採用されており、衝突防止シールを講じている。風除室の固定ガラス壁はフィルムのスクリーンを講じて、視認性に配慮している。

- 立位で利用するハイカウンターと車椅子使用者が利用できるローカウンターを設置
- 調剤を待つ利用者に配慮し、車椅子使用者用簡易型便房やキッズコーナーを設置



受付カウンター

ハイカウンターが5つ(受付・会計含む)の横には、車椅子使用者にも配慮した、座って利用できるローカウンターが1つ設けられている。



車椅子使用者が利用できるローカウンター
座って利用するローカウンター下部には車椅子使用者の膝が入るスペース(下端高さ:73cm、上端高さ:76cm、奥行き:35cm)が確保されている。



ハイカウンターの杖立て

立位で使用するハイカウンター(高さ:90cm)には、杖を立てかけるくぼみが設けられている。



キッズコーナー

店舗の一角を利用し、クッション材をしきつめたキッズコーナーが設けられている。

車椅子使用者用簡易型便房



便房の出入口には、ピクトグラムのみで設備内容が表示されている。出入口は引き戸となっており、取っ手の形状は握りやすい押棒となっている。



幅 160cm×奥行き 120cm(出入口有効幅:85cm)の車椅子使用者や乳幼児連れの利用者に配慮した男女共用の便房が設置されている。便房内には、乳幼児用おむつ交換台、便座近くには手荷物置台が設けられている。



戸の鍵は大きめのレバーハンドル錠である。

8 富士レークホテル

継続的かつ計画的にバリアフリー・ユニバーサルデザイン対応を目指すリゾートホテル

1932 年に山梨県に開業したりゾートホテルである。

全国のホテル・旅館業界に先駆け、1983 年から障害者の雇用に積極的な取り組みが行われており、現在、従業員 112 名の内、3 名が何らかの障害を持つスタッフである。

そのような組織土壌の中、高齢化社会、及び障害者と障害のない人が共生する社会へ向けて、ハードとしてのバリアフリー・ユニバーサルデザイン対応が 1999 年から継続的に行われている。

また、高齢者や肢体不自由者等の利用に配慮した備品の貸し出し、ホームページでの客室に関する詳細な事前の情報提供等が行われている。

用 途	ホテル
所 在 地	山梨県南都留郡富士河口湖町船津
建 築 主	株式会社 富士レークホテル
設 計 者	トライボッド・デザイン、石井建築事務所
構 造	鉄筋コンクリート造
階 数	地下 1 階、地上 6 階
建築面積	3,237.54 m ²
延床面積	10,489.18 m ²
竣 工	西館:1971 年 東館:1984 年 (改修年:1999 年、2001 年、2002 年、2006 年、2008 年、2010 年等)
客 室 数	74 室 (うち車椅子使用者用客室[改修]:23 室)
付 帯 施 設	レストラン、ラウンジ、宴会場、プール、会議室等



施設外観

■施設構成

	東館	西館
7階	レストラン	客室 14 室
6階	バリアフリールーム 2 室 露天風呂付客室 (UD化) 1 室 その他客室 6 室	客室 8 室
5階	バリアフリールーム 1 室 露天風呂付客室 (UD化) 9 室	客室 8 室
4階	バリアフリールーム 1 室 露天風呂付客室 (UD化) 9 室	客室 8 室
3階	宴会場等	客室 1 室 リニューアル和洋室 (UD化) 6 室
2階 (ロビー階)	フロント、屋外プール、宴会場等	レクビュー貸切風呂 (バリアフリー)
1階	ダイニングフロア、大浴場等	



館内のスロープ

■2006 年 バリアフリー・ユニバーサルデザイン客室への改修、1 階ダイニングの改修

- バリアフリー・ユニバーサルデザイン客室への改修と同時に、ダイニング(総面積 1000 m²)も改修し、食事の提供場所におけるユニバーサルデザイン対応(バリアフリー対応)の取り組みが行われた。
- 宴会場、バーやカラオケルームを含む 1 階フロア全体のユニバーサルデザイン対応(バリアフリー対応)を行うため、スロープ設置による段差解消が行われたほか、オストメイト対応の便所が設けられた。

■食事提供等のユニバーサルデザイン対応の工夫

- ハード面の改修と同時に、刻み食、ペースト対応、アレルギー対応など食事提供のユニバーサルデザイン対応の取り組みも行われている。

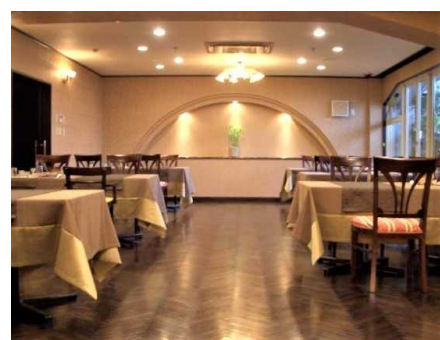
■2008 年 玄関前の手すり増設、河口湖眺望露天風呂つき客室 (バリアフリー・ユニバーサルデザイン客室)への改修



玄関前の手すり付きスロープ



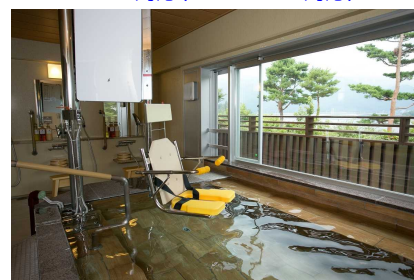
露天風呂つき客室 和(なごみ)



ダイニング(はまなし)

■2010 年

バリアフリー・ユニバーサルデザイン客室への改修、貸し切り風呂・共用トイレのユニバーサル対応(バリアフリー対応)



介助用リフトを整備したレクビュー貸し切り風呂

- 既存の一般客室 2 室を 1 室化改修したバリアフリー・ユニバーサルデザインの客室(23 室)
- 間取り図・写真への寸法記入、貸し出しリスト等による、事前の情報提供を実施

■スタンダードルーム(バリアフリー・ユニバーサルデザイン) 42㎡

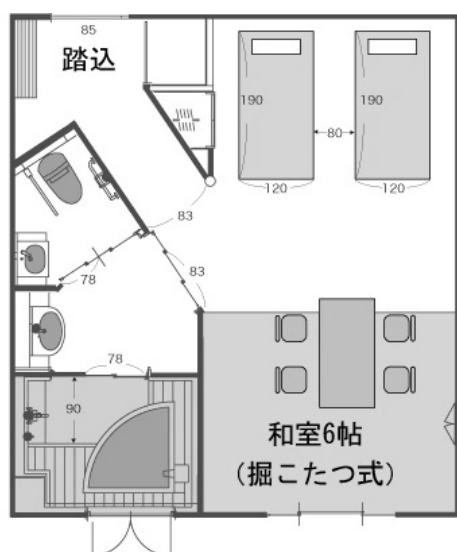


客室内部

室内には、掘こたつ式の和室とレークビューの浴室が設けられている

■ホームページ等における事前の情報提供

ホテルのホームページでは、バリアフリー・ユニバーサルデザイン客室の間取り図及び各部分の有効幅員等が写真入りで詳しく掲載されているほか、高齢者や肢体不自由者対応、及び乳幼児連れの利用者対応のための貸し出し備品、共用部分のバリアフリー化対応、食事(きざみ食等)の対応等についての情報が掲載されている。



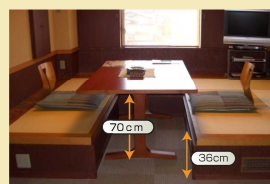
スタンダードルームの間取り図とバリアフリー対応の詳細



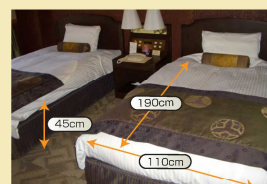
富士レークホテル

Barrier Free

富士眺望露天風呂付スタンダードルーム バリアフリー詳細



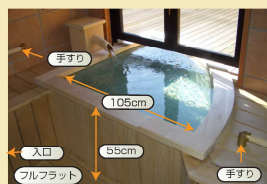
※掘りこたつ式



※リクライニングベッドではございません



※車イスでお入りいただけます



※車イスでお入りいただけます。※客室により、浴槽の形や材質、眺望が異なります



※聴力や視力のよい方へ、フラッシュライトで呼び出しをお知らせします。※611号室にはございません



512・513号室は陶器風呂となります

富士レークホテル

〒401-0301 山梨県南都賀郡富士河口湖町船津1番地
TEL 0555-72-2209 FAX 0555-73-2700

9 京王プラザホテル

バリアフリー対応の改修やサービス提供の充実等に、
先駆的・継続的に取り組むシティホテル

1971年に東京・新宿に開業したシティホテルである。

1988年にユニバーサルルーム15室(現在は一般客室として使用)が改修により設置され、2018年にはユニバーサルルーム10室(2002年設置)の全面改修、新たな3室の整備が行われた。

誰もが快適に過ごすことができるよう、ユニバーサルルームには機能的な家具・システム環境、利用者のニーズに応じて取り付け可能な手すりやアラートシステムが設けられている。

また、ホームページでは、車椅子使用者による客室の利用状況の動画・間取り図・貸し出し備品リスト等による事前の情報提供が行われている。

※京王建設株式会社提供 資料に一部加筆等

用途	ホテル
所在地	東京都新宿区西新宿
発注者	京王電鉄株式会社
設計者	本館:株式会社日本設計 南館:株式会社日建設 2018年改修設計: (基本設計)株式会社日本設計 (実施設計)京王建設株式会社
構造	鉄骨造 一部鉄骨鉄筋コンクリート造
階数	本館:地下3階、地上47階 南館:地下3階、地上35階
建築面積	4,604.49㎡
延床面積	本館:116,924.80㎡、 南館:58,117.76㎡ (計:175,042.56㎡)
竣工	本館:1971年、南館:1980年 (改修年:1988年、2002年、 2018年)



施設外観

■共用部



北側エントランス(2階)

2階の北側エントランスには、階段の横に傾斜路が設けられている。



補助犬専用トイレ

敷地内にある補助犬専用トイレ(人工芝の部分)には、シャワー設備、ゴミ箱も設けられている。車椅子使用者にも使いやすいよう、一段高い場所にも補助犬トイレが設けられている。

■情報提供



バリアフリー対応についてのホームページでの紹介

ホテルのホームページでは、車椅子使用者、視覚・聴覚障害者、補助犬ユーザーへの配慮や、ユニバーサルルームの寸法や設備・備品が紹介されている。

また、車椅子使用者が、実際にユニバーサルルーム内やホテル内を移動・利用する様子や、新宿駅西口からホテルまでの経路等を動画で紹介されている。

※動画の画像はリニューアル前の客室



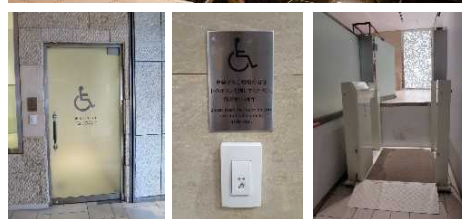
授乳室(約30㎡、3階)

乳幼児用おむつ交換台:2台、着替え台:1台、授乳用ソファ(個室):2室、プレイマット、電子レンジ(離乳食の温め専用)、調乳栓、ダストボックスが設けられている。



コンコードボールルーム(宴会場、本館5階)

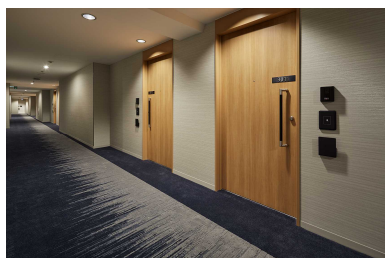
事前に申し込むと聴覚障害者用集団補聴装置(磁気ループシステム)を使うことができる。床下に専用の配線が設けられている。可動壁により3つの宴会場に分割することもできる。



2階レストランフロア

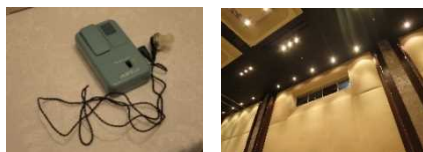
高齢者や車椅子使用者が利用しやすいよう、レストランの出入口は、段差がない、または傾斜路(写真上)や段差解消機(写真下右)を設けたものとなっている。

2階には、男女共用の多機能便房が設けられている。



廊下

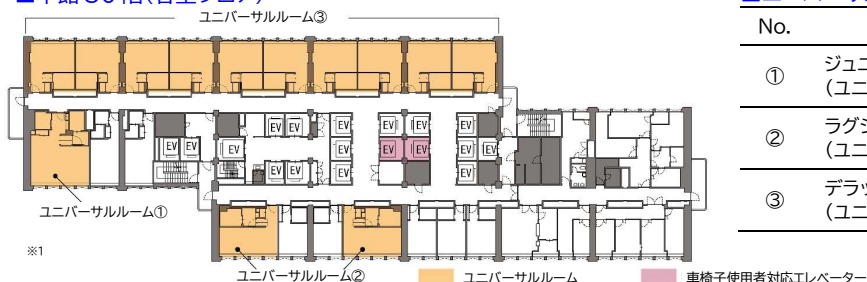
床面と壁面の境界を識別しやすいよう、色の組み合わせを工夫している。



貸し出し用の磁気ループ用受信機(補聴器)と集団補聴装置の調整等を行う音響室

- 誰もが利用しやすいよう、洗練されたデザインの内装、着脱式の備品等の準備されたユニバーサルルーム(13室)
- 車椅子使用者による利用状況の動画、間取り図、貸し出し備品リスト等による、事前の情報提供を実施

■本館 30 階(客室フロア)

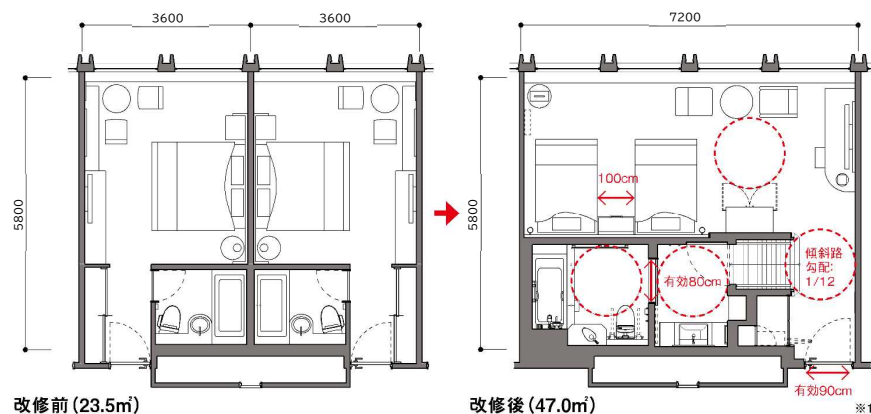


■ユニバーサルルームの種類

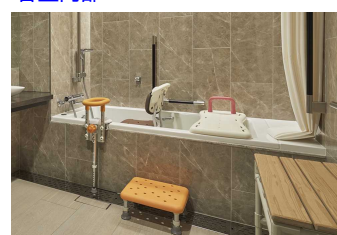
No.	部屋タイプ	室数	客室面積
①	ジュニアスイート ツイン (ユニバーサルデザイン)	1	67.4 m ²
②	ラグジュアリーデラックスツイン (ユニバーサルデザイン)	2	47.0 m ²
③	デラックス ツイン (ユニバーサルデザイン)	10	35.5 m ²

- 本館 30 階に、ユニバーサルルームが 13 室設けられている。同フロアには、テナントとして託児所、クリニックがある。
- 本フロアは、2018 年に以下の改修を行っている。
 - ・①と②は、一般客室 2 室を 1 室に改修して、ユニバーサルルームを 3 室新設
 - ・③は、既存のユニバーサルルーム(2002 年 10 室設置)のユニットバスや内装を改修
 - ・廊下、エレベーターホールの改修
- ユニバーサルルームの改修にあたって、3 種類の部屋のモックアップ製作を行い、実証実験等に基づき改善を図りながら、確実な整備につなげている。

■ラグジュアリーデラックス ツイン(ユニバーサルデザイン)(47.0 m²)



客室内部



水廻り室

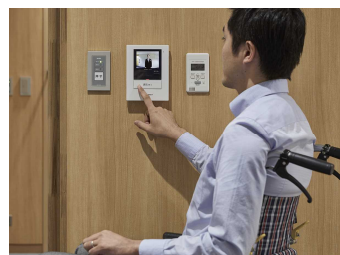
※浴槽に貸し出し備品を設置

■ユニバーサルルーム全室共通



客室出入口(廊下側)

ドアは最初の 60 度までゆっくり動き、その後は通常の速さで閉まる。インターホンの高さ:120cm、カードリーダー認識部の高さ:102cm、新聞受けの高さ:75cm



スイッチ、ドアモニター

床から 110cmの高さに統一して、戸の施錠・解錠ボタン、ドアモニター、空調スイッチが設けられている。また、戸の施錠・解錠ボタン及びドアモニターは、車椅子使用者が戸の近くまで行くことなく、来客者の確認や戸の解錠をすることができる位置に設けられている。

ミニバーキャビネット

ミニバーキャビネットの足元は、車椅子利用者や高齢者の利用にも配慮して、出し入れしやすい高さとなっている。(足の長さ約 40cm)



ライティングデスク

天板下部には、車椅子使用者の膝が入るスペースが確保されている。天板端部は、掴みやすいよう、形状が工夫されている。



コントロールパネル

ベッド脇に設けられたコントロールパネルでは、照明と電動カーテンの操作が可能となっている。スイッチには、反転色を用いた文字と絵記号が併記されている。



トイレ

トイレには、高さや幅が変えられる着脱式の手すり、背もたれ、背もたれクッション(貸し出し備品)が設けられている。



取り付け前

取り付け後(背もたれを設置)



クローゼット

クローゼットには、高さの二段階調節(170cm、120cm)が可能なハンガーが設けられている。クローゼットの中には、速やかな対応を図るため、貸し出し備品を保管する収納庫(スタッフ用)が設けられている。

10 ザ ロイヤルパークホテル 東京羽田

高齢者、障害者等の旅行者や海外からの来訪者等にも配慮した
空港国際線出発ロビーに直結のシティホテル

羽田空港国際線旅客ターミナルビルに併設され、出発ロビーに直結するほか、保安エリア内に国内初のトランジットホテルを有するホテルである。一般エリアの各階に5室、保安エリアに1室のユニバーサルルーム(車椅子使用者用客室)が整備されている。誰もが利用しやすいよう、ユニバーサルルーム(車椅子使用者用客室、1室)の内装・浴室等のデザイン・設備機器等は、一般客室と同様・同水準のものとなっている。

用 途	ホテル
所 在 地	東京都大田区羽田空港
建 築 主	東京国際空港ターミナル株式会社
設 計 者	梓・安井・PCPJ東京国際空港国際線旅客ターミナル設計監理共同企業体／株式会社三菱地所設計(ホテル内装設計他)
構 造	鉄筋コンクリート造
階 数	地上8階
竣 工 年	2014年
建築面積	2,198.61㎡(ホテル棟)
延床面積	11,642.60㎡(ホテル用途面積)
竣 工	2014年
客 室 数	一般エリア:296室(うち車椅子使用者用客室:5室) 保安エリア:17室(うち車椅子使用者用客室:1室)
付帯施設	レストラン、ミーティングルーム等

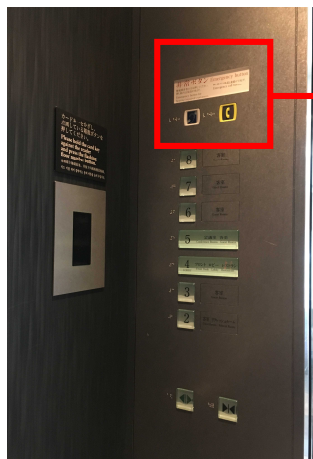
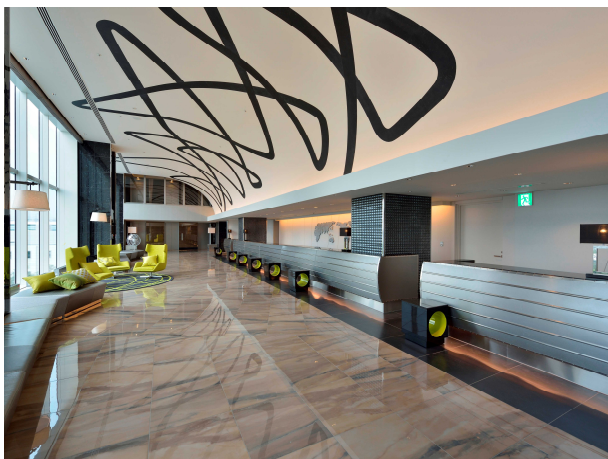
※1 写真撮影 株式会社エスエス



施設外観

※1

■共用部



エレベータ内の非常ボタン
聴覚障害者が耳マークのボタンを押し続けると、係員が来るようになっている。

■エントランス・フロント

エントランスは、国際線旅客ターミナルビル3階・出発ロビー内に位置する。

■貸し出し備品



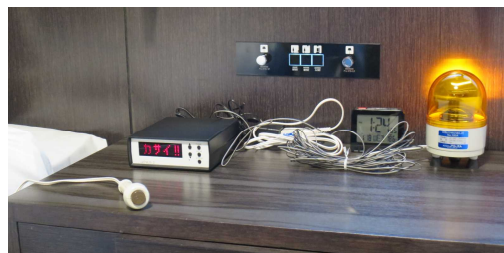
共用便所の案内表示
共用便所の案内表示には、絵記号と点字が併記されている。



共用便所(女性)の便房
両側手すりが設置された広めの便房が設けられている。



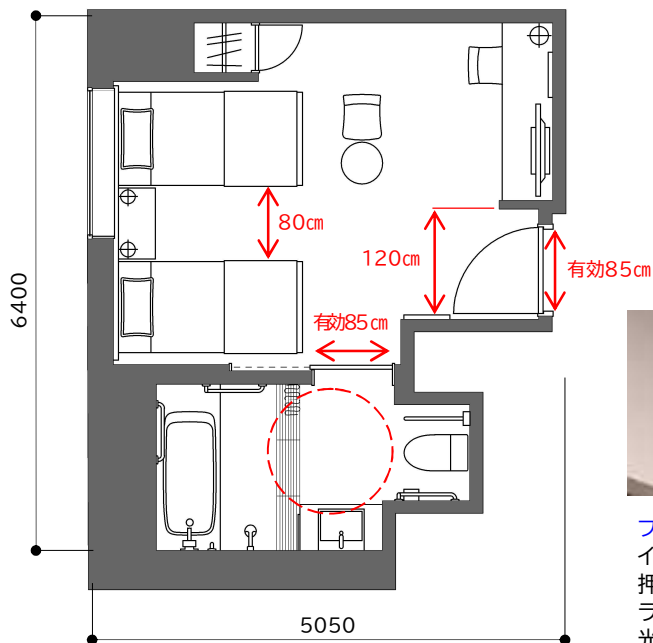
シャワーチェア、浴槽移乗台(バスボード)
予約時にリクエストがあると、客室にあらかじめ設置されている。



屋内信号装置
ユニバーサルルームには、呼出握りボタン、火災等の非常時に客室に電話で連絡すると、点灯するライトと文字による表示機器を貸し出している。
[聴覚障害者等対応]

●スタイリッシュなデザインのユニバーサルルーム(車椅子使用者用客室、一般エリア(5 室)及び保安エリア(1 室))

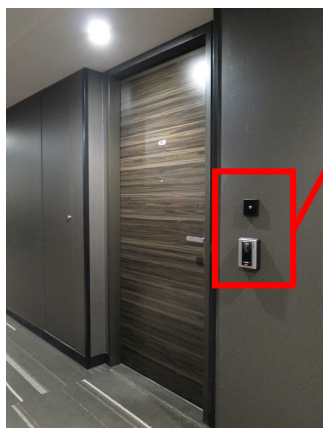
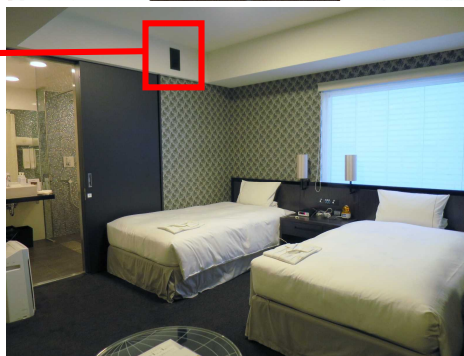
■デラックスツイン(車椅子使用者用客室 29㎡)



客室内部



フラッシュライト
インターホンが
押されると、フ
ラッシュライトが
光るようになって
いる。



聴覚障害者用の
呼び出しボタン
(写真上)とカメ
ラ付きインター
ホン(写真下)

客室出入口(廊下側)

聴覚障害者用の呼び出しボタンが押されると、貸し出し備品の回転灯が光るようになっている。



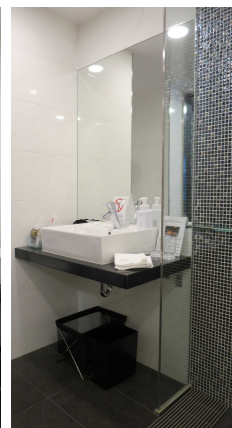
クローゼット

低い位置からハンガーを掛けることができるように、S字フックを貸し出している。



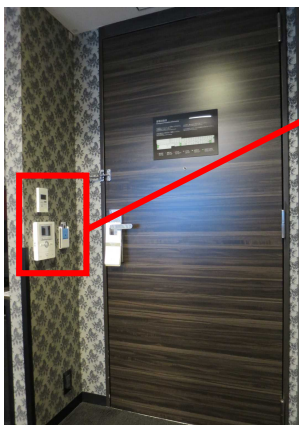
トイレ

L型手すり(一部木調)及びはねあげ式の手すり、呼び出しボタンが設けられている。

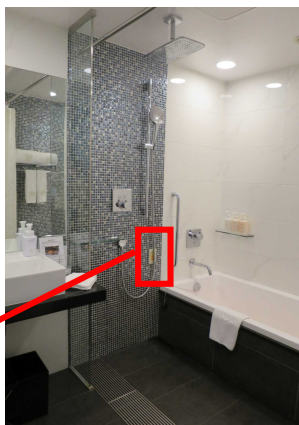


洗面台

洗面器の下部には、車いす使用者の膝が入るスペースが確保されている。

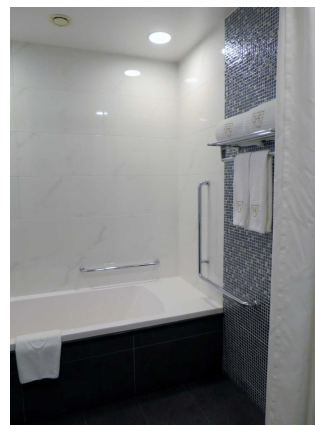


呼び出しボタン



シャワー

シャワーはハンドシャワーと天井への固定シャワーであり、浴槽に入らずにシャワー浴が可能となっている。ハンドシャワーのシャワーヘッドは、バーに沿ってスライドし、高さが調節できるようになっている。



浴槽および手すり

移乗台、浴槽での立ち座り姿勢を保持するための手すり、浴槽のための手すりが設けられている。

11 いしかわ総合スポーツセンター

障害の有無に関わらず、競技や観戦を楽しめるスポーツ施設

本施設は、障害の有無に関わらず、誰もが安心して競技や観戦のできるスポーツ施設を目指して計画されたものである。

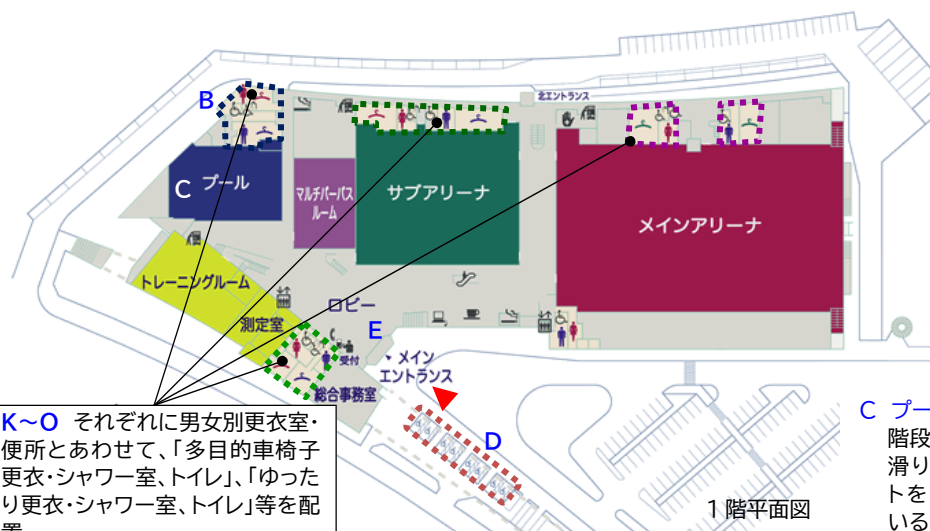
基本設計時には、障害者スポーツ競技の視察・ヒアリングを行い、実施設計・施工時には、発注者、コーディネーター、県障害者スポーツ協会、施工者等が参画するバリアフリー検討会を継続的に開催し、計画内容、寸法・設備等の検討・検証を行った。

便房、更衣・シャワー室は、モックアップを製作し、モニターによる動作検証を行うことにより、様々な身体特性の動作に対応した3種類の広さ・仕様で計画・配置している。

用途	体育館
所在地	石川県金沢市稚日野町北
発注者	石川県
設計者	池原義郎建築設計事務所
構造	鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造
階数	地上4階、地下1階
敷地面積	52,398 m ²
建築面積	18,065.93 m ²
延床面積	28,316.34 m ²
竣工	2008年3月



A 施設外観



K~O それぞれに男女別更衣室・便所とあわせて、「多目的車椅子更衣・シャワー室、トイレ」、「ゆったり更衣・シャワー室、トイレ」等を配置



B プール更衣室

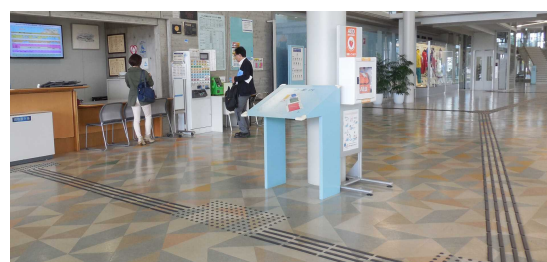
男女更衣室の他に、異性介助に配慮した「多目的更衣室」(広めの更衣室)を配置している。



C プール入口
階段、手すり、滑り止めマットを設置している。

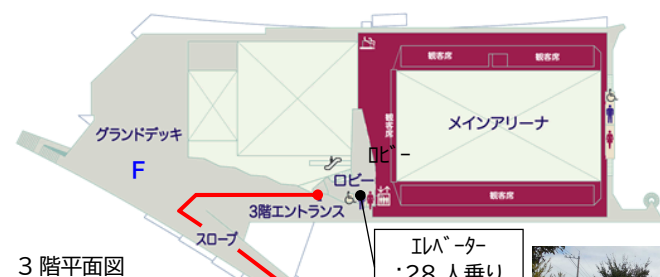


D 車椅子用駐車施設(12台)
競技用車椅子を出し入れするための車後方のスペースを確保するとともに、出入口までの動線には、屋根を途切れなく設置している。



E 視覚障害者への対応

バス停から受付、及び主要動線へ視覚障害者誘導用ブロックを敷設し、出入口の音声案内装置・触知案内図の設置等を行っている。視覚障害者誘導用ブロックは、輝度比2.75を確保し、設計時に利用者団体が敷設範囲等を確認している。
移動等で介助が必要な際には、PHS(利用者へ貸出)により管理者・主催者側への介助依頼が可能である。



3 階平面図

F グランドデッキ

3 階屋外には、メインアリーナ 3 階席への出入口兼一時待避スペースがあるグランドデッキ、地上への避難経路にもなる幅の広いスロープを配置している。



G 災害時の対応

災害時の避難に対応するため、廊下には高齢者等を階段で降ろすための階段避難車を配置している。



- 設計・施工段階で、障がい者スポーツ団体や利用者の意見を取り入れ
- モックアップによる動作検証で、数種類の便所、更衣・シャワー室を計画



2 階



3 階

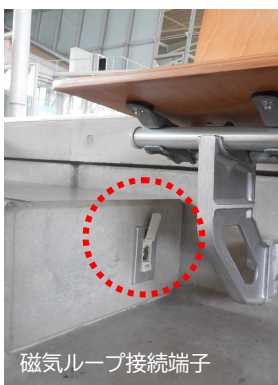


H 車椅子使用者用観覧席(メインアリーナ 2 階・3 階:計 42 席)

2 階の最前列に設けられた車椅子使用者用観覧席(3 カ所に分散)の他、3 階にも車椅子使用者用観覧席を確保している。(総観覧席数:計 5,019 席)

I 観覧席の通路

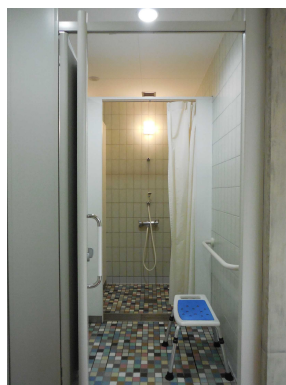
段鼻の色を変えて段をわかりやすくし、手すりを設置している。



磁気ループ接続端子

J 聴覚障害者への対応

観覧席と会議室には集団補聴システム(磁気ループ接続端子:5 カ所)を設置している。また便所や更衣室、アリーナ等には火災報知機に連動する点滅灯を設置している。
さらに管理者、主催者からの PHS(利用者へ貸出)一斉メールの送信により、非常時等の聴覚障害者への案内を行うことが可能である。

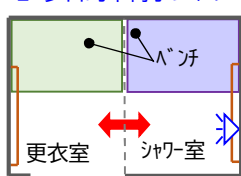


K 一般更衣室内シャワー室

男女別更衣室のシャワーブースのうち2カ所(計 20 カ所)を、杖歩行や車椅子使用者に対応した広さとしている。
室内には、手すりやシャワー用の腰掛けを設置している。

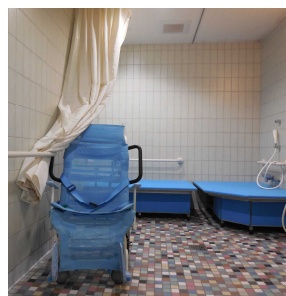


L 多目的車椅子シャワー室

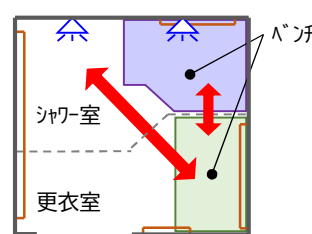


▲出入口(幅 120cm、引き戸
(競技用車椅子に対応))

男女別更衣室のシャワーブースのうち 1 カ所(計 8 カ所)を、端座位の車椅子使用者に対応可能な広さ、しつらえとしている。
室内には、水まわり用の車椅子を設置している。



M ゆったり更衣・シャワー室



▲出入口(幅 120cm、引き戸)

異性介護が可能な位置に設けた「ゆったり更衣・シャワー室」(計 4 カ所)は、障害が重く臥位、長座位の場合にも対応可能な広さ、しつらえとしている。
室内には、シャワー用のストレッチャーを設置している。



N 男女別更衣室

車椅子使用者の更衣や車椅子への移乗がしやすいよう、十分なスペース・ベンチを設けているほか、下部に足元が入るスペースを設けたロッカーを設置している。
女子更衣室内には授乳室を設置している。



O 障害の程度や、設置位置に対応した様々な便房

障害の内容や程度、観覧席や控え室等の設置位置に対応できるよう、「ゆったりトイレ」(大型ベッド付多機能便房(ロビー等)):計 3 ヶ所、「多目的車椅子トイレ」(不特定多数仕様多機能便房(観覧席等)):計 3 ヶ所、競技者仕様多機能便房(メインアリーナ):計 4 ヶ所、車椅子使用者用簡易型便房(男女別:計 34 カ所)を設置している。



多目的車椅子
トイレ(多機能便
房)



車椅子使用者
用簡易型便房

12 木曽路 春日部店

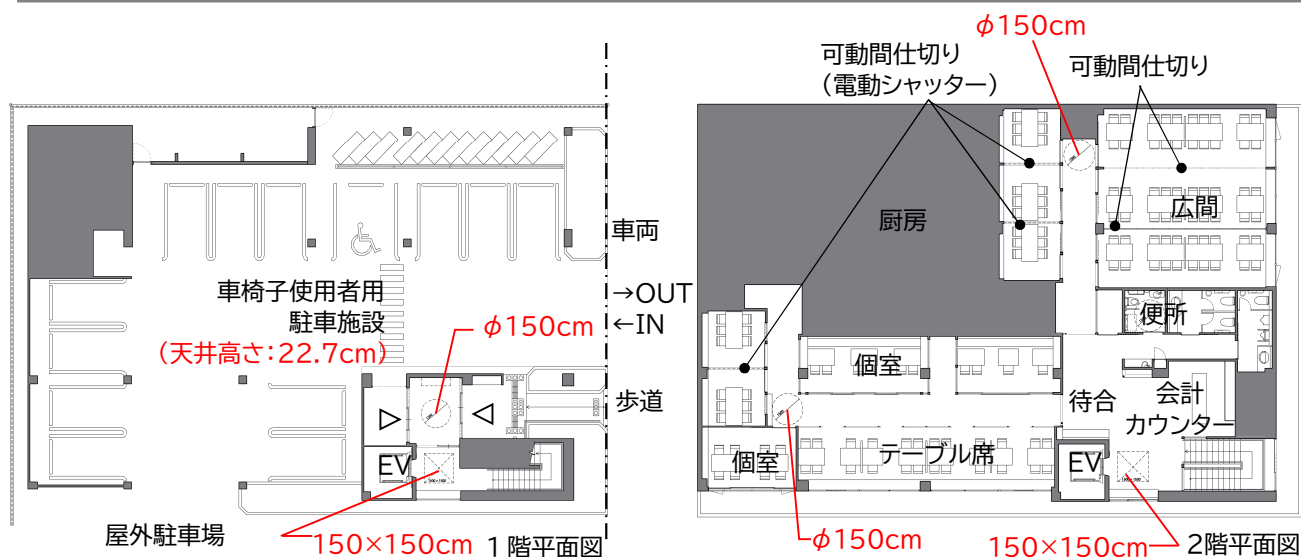
多様な年代の利用者が食事を楽しむことができる
大通り沿いに面する2階建ての和食レストランチェーン

木曽路は、接待や家族連れ等に利用される全国展開の和食レストランチェーンである。企業としてピロティタイプの独立店舗(1階駐車場、2階客席)へのエレベーターの設置、車椅子使用者用便所の設置等に積極的に取り組んでいる。春日部店では多様なニーズや利用客の人数に柔軟に対応するため、ほとんどの席が可動式の椅子席(テーブル席)となっている。

用途	飲食店
所在地	埼玉県春日部市豊町
発注者	(株)木曽路
設計者	有限会社 エスアンドエイ
構造	鉄骨造2階建て
階数	2階
敷地面積	1311.79 m ²
建築面積	543.25 m ²
延床面積	1013.42 m ²
竣工	2020年9月(10月開業)
客席面積	約450m ²
客席数	150席(テーブル個室:9部屋)
付帯施設	駐車場37台(うち車椅子使用者用駐車施設:1台)

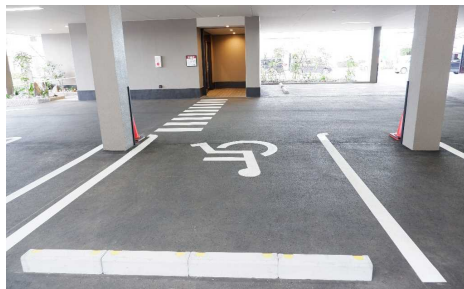


施設外観



敷地内の通路 (インターホン)

歩道から店舗の出入口まで、段はなく、緩い傾斜路(幅:140cm)となっている。出入口の横にはインターホン(墨字に点字を併記)が設けられている。駐車場通路からインターホンまでの経路には、視覚障害者誘導用ブロックが敷設されている。



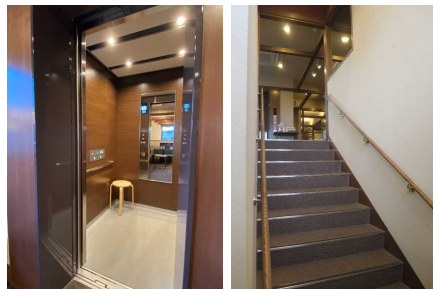
車椅子使用者用駐車施設:車寄せ

1階(駐車場)の天井高さは2.7mであり、送迎のマイクロバスで、駐車場側からの出入口まで来ることが可能である。車椅子使用者用駐車施設(1台)は、出入口から近い位置に設けられている。



ゆとりのある出入口

出入口(風除室)の戸は自動式引き分け戸(幅:130cm)、エレベーターホール出入口の戸は自動式片引き戸(幅:100cm)となっている。風除室のメニュー台の下部に、貸出し用の車椅子が備えられている。



11人乗のエレベーターと両側手すりの階段

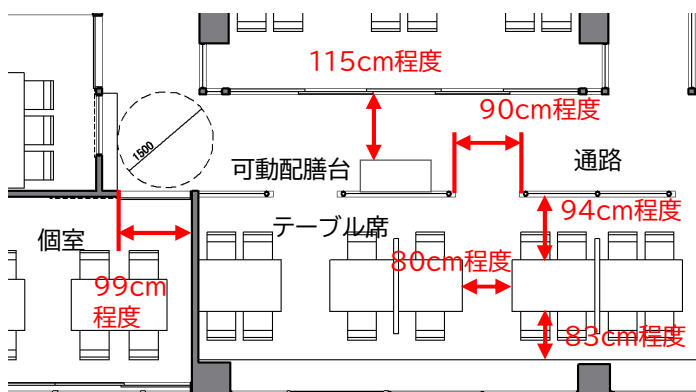
エントランス(1階)から客席(2階)には音声案内付きのエレベーターでアクセスが可能となっている(かごの大きさ:140cm×135cm(11人乗))。かご内には高齢者に配慮し、椅子が設けられている。階段の両側には手すりが設けられている。

- 多様な利用シーンに対応可能な可動式のテーブル・椅子席、仕切りのある個室を設置
- ピロティ下の車椅子使用者用駐車施設(1階ピロティ)から、2階の客席までのバリアフリー動線を確保



ゆとりのある待合・通路

待合には、ゆとりのある広さが確保されている。通路の有効幅は可動の配膳台を置いた状態で115cm程度と、車椅子使用者が通行しやすい幅員が確保されている。



客席配置図



可動式の椅子席

多様なニーズや利用客の人数に柔軟に対応するため、個室の一部(テーブルの片側のみ固定席)を除き、席の9割以上が可動式の椅子席となっており、テーブル・衝立も動かすことができる。テーブルの高さは70cm、テーブルの大きさは4人掛けで130×80cm、2人掛けで100×80cmとなっている。



電動シャッター



個室

一部の個室では可動間仕切り(電動シャッター)で、間仕切り位置・室の大きさを変えることが可能である。乳児用ベッド(備品)を6台、備えている。(お食い初め等の家族イベントも多いため)

各種便所



男性用便所

男女それぞれの便所の便房には、乳幼児用椅子が設けられている。また男性用便所の小便器には手すりが設けられている。



車椅子使用者用便房

男女共用の車椅子使用者用便房にはオストメイト対応設備、乳幼児用おむつ交換台が付加されている。出入口は引き戸となっており、取っ手の形状は握りやすい押棒である。戸には設備内容が分かりやすくピクトグラム等で表示されている。



会計カウンター

会計カウンターの裏側には、出入口・エレベーターのインターホンに対応した受話器があり、必要に応じて従業員がサポートする。車椅子使用者用便房の緊急呼出しボタンの受信機もある。

13 麺屋 淳陸屋(じゅんぺいや)

車椅子使用者も飲食を楽しむことができるカウンター型のラーメン店

麺屋 淳陸屋はカウンター席のみのラーメン店である。

ゆとりある空間が確保された店内には、車椅子使用者が利用できる可動式の椅子席を配置したカウンター席、簡易型の車椅子使用者用便房が設けられている。

店主自身も車椅子使用者であり、厨房出入口には傾斜路が設けられ、内部には自身が使いやすいようスペースが確保されている。

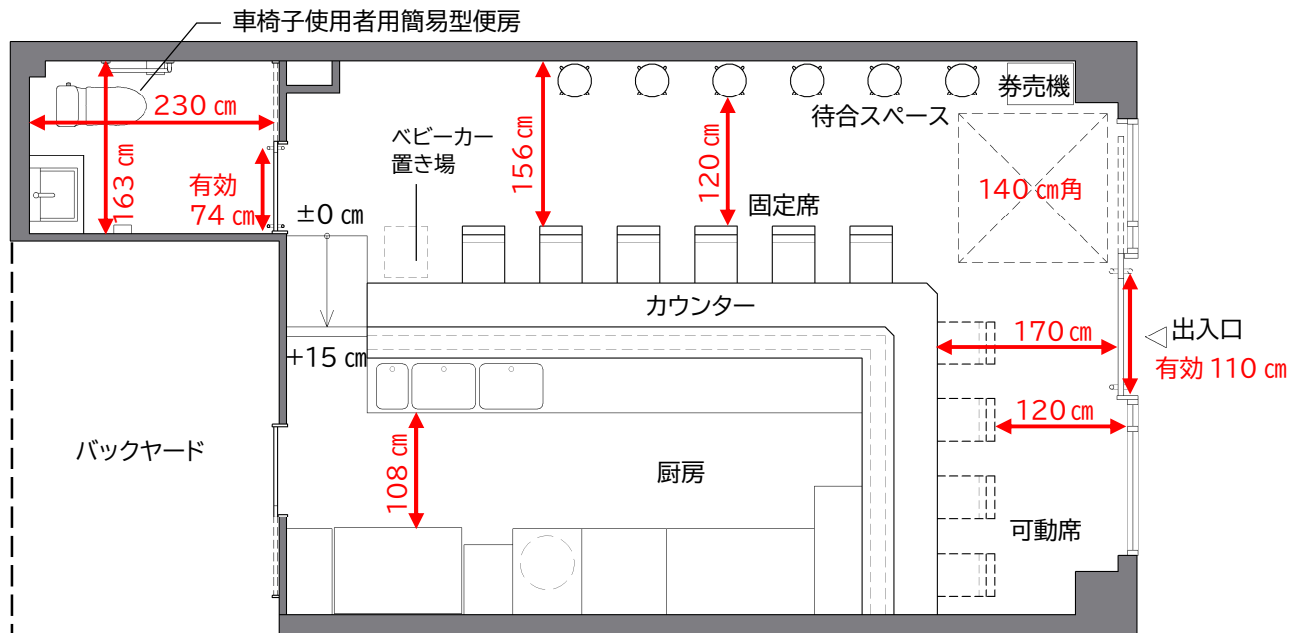


特製醤油 SOBA
(全部のせ)

用 途	飲食店
所在地	東京都葛飾区亀有
階 数	共同住宅の 1 階に位置する路面店舗
延床面積	約 56 m ²
竣 工	2018 年 4 月 〔用途変更を伴う改修： 倉庫→飲食店〕
開 業	2018 年 1 月
客席面積	約 32 m ²
客 席 数	10 席(カウンターのみ)、 うち 4 席可動席
付帯施設	無



施設外観



店舗平面図



出入口

店舗の出入口は引き戸、取っ手の形状は握りやすい押棒となっている。



紙幣投入口
(スタッフによる支援)

券売機

視覚障害者や、ボタンに手の届かない車椅子使用者が利用する際には、店員によるサポートが行われている。

- カウンター席に可動式の椅子席を確保、固定席利用者も車椅子利用者も利用しやすい高さのカウンターを設置
- 車椅子利用者用簡易型便房を設置



客席カウンター

車椅子のまま食事ができるよう、固定席が6席のほかに可動式の椅子席が4席設けられている。



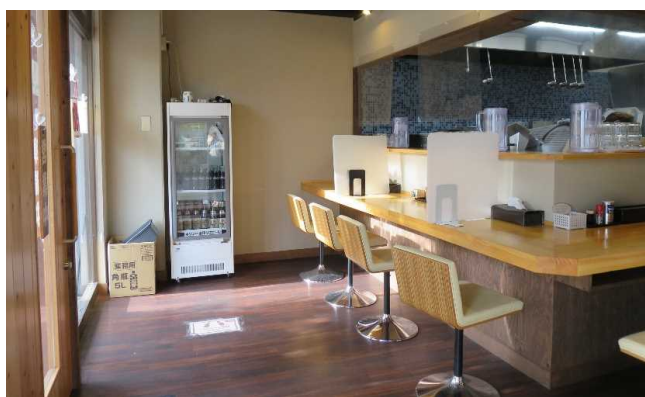
可動席式の椅子席

下部に車椅子利用者の膝が入るスペースが確保されたカウンターの寸法(下端高さ:68cm、上端高さ:75cm、奥行き:49cm)等は設計時に店主自身の車椅子サイズを参考に決められた。固定席のカウンター下部には棚があるが固定席にはない。



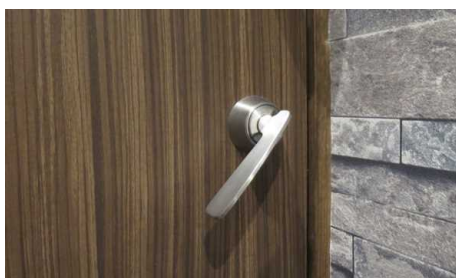
ベビーカー置場

10席の客席とは別に、ベビーカー置場が設けられている(車椅子利用者用の席としても利用可)。



店内の通路

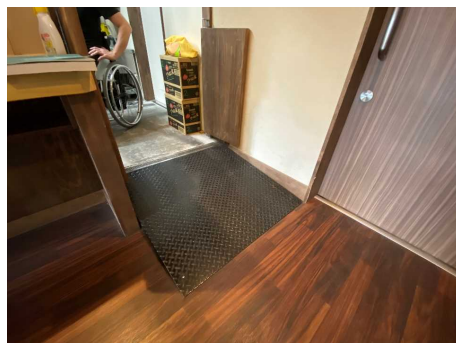
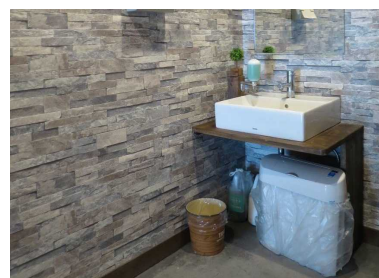
通路には車椅子利用者が通行しやすい幅員(120cm)が確保されている。



車椅子利用者用簡易型便房

出入口は引き戸となっており、取っ手の形状は握りやすい押棒、戸の鍵は大きめのレバーハンドル錠である。

洗面台の下部には車椅子利用者の膝が入るスペースが確保されている。



厨房

厨房内には店主(車椅子利用者)が移動しやすい通路幅(108cm)が確保されている。グリーストラップを設けるため、厨房の床は客席よりも約15cm高いが、厨房・客室間には傾斜路が設けられている。調理機材には一般の既製品を使用している。

14 Meets Smile(理容所)

理容椅子への移乗が難しい車椅子使用者等、多様な利用者に対応した貸し切りヘアサロン

Meets Smile は「和の茶室」をイメージした完全予約制の貸し切りヘアサロンである。

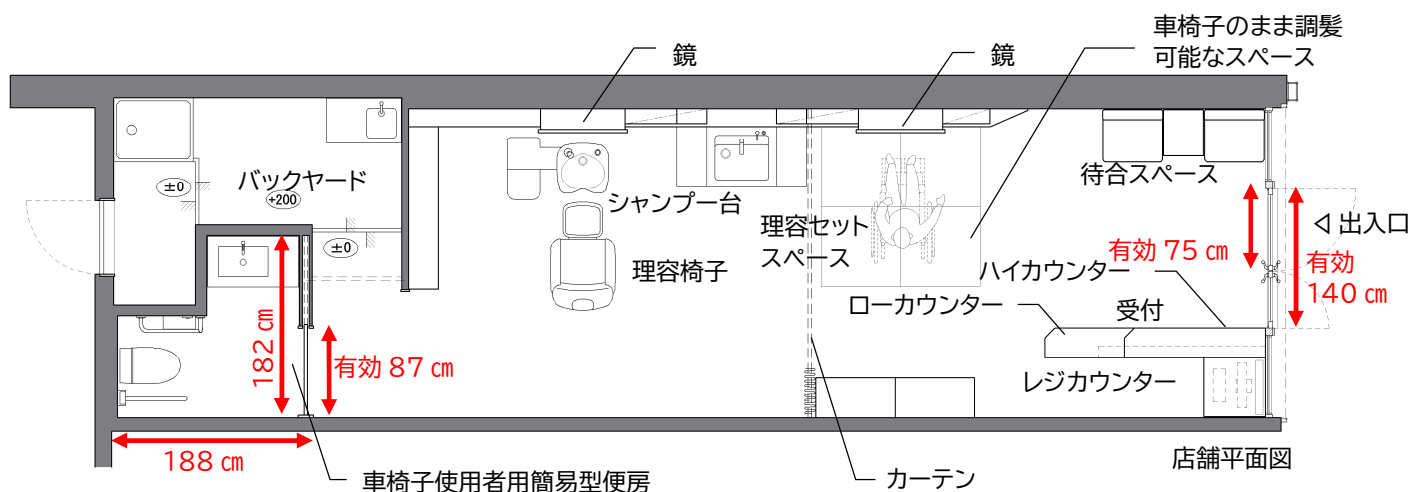
車椅子使用者用等、さまざまな利用者に対応できる調髪スペースや車椅子から移乗しやすい理容椅子等が設けられている。

重度訪問介護従業者の資格を持つ理容師が様々な障害を理解され、車椅子から理容椅子への移乗介助等のソフト対応も行われている。

用 途	理容所
所 在 地	東京都清瀬市松山
設 計 者	DESIGN APPLET
階 数	3階建ての1階に位置する路面店舗
延床面積	40.39 m ²
竣 工	2015年7月(開業)
客席面積	約 34 m ²
客 席 数	調髪台 1 台 バリアフリースペース (車椅子や子供の立位のまま調髪、キッズスペース等、多目的に利用できるスペース)
付帯施設	無



施設外観



エントランス

提携駐車場はないが、利用者は店舗の前の道路(私道)に自家用車や介護タクシーをつけて乗り降りしている。

道路と敷地の間には、鉄板敷きの傾斜路が設けられている。道路から店舗内が見通せるよう、戸は木格子付きのガラス張りとなっている。



出入口

店舗の出入口は両開き扉(片側の有効幅: 75cm、両側の有効幅: 140cm)で、出入口の前後に高低差はない。取っ手は握りやすいブッシュプルハンドルである。



店頭表示

店頭、車椅子で利用できることについての案内表示が設けられている。



カウンター・レジ

会計には、立位で使用するハイカウンターと、車椅子使用者にも配慮した、ローカウンターが設けられている。ローカウンター下部には車椅子使用者の膝が入るスペース(下端高さ: 65cm)が確保されている。

- 車椅子使用者の他、さまざまな障害のある方や子どもにも対応可能な理容スペース・設備を整備
- ローカウンターの受付や車いす使用者簡易型の便房を設置



理容セットスペース

車椅子使用者が理容椅子に移乗せずに車椅子のまま調髪できるスペースが確保されている。
長時間じっとしていられない子どもや精神障害者等が立ったまま調髪することもできる。
正面には全身を映すことができるよう、フルハイト鏡が設けられている。



理容セットスペースと理容椅子間の間仕切

他の人の視線が気になる精神障害者等の調髪や、おむつ交換時のためにカーテンが取付けられている。



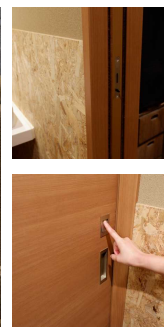
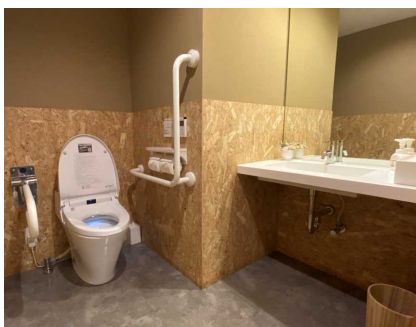
理容椅子・シャンプー台

車椅子から移乗ができる利用者に対応するため、踏み台の取り外し、肘掛けの上下が可能な理容椅子が採用されている。
また体形や障害に合わせて楽な体勢でサービスが受けられるよう、理容椅子とシャンプー台は位置や角度を上下左右に電動で微調整できるものとなっている。



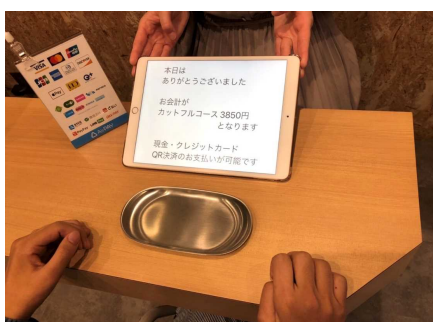
従業員による支援

重度訪問介護従業者の資格を持つ理容師が、車椅子から理容椅子への移乗補助に対応している。



車椅子使用者用簡易型便房

L 形手すり及び可動式手すりが設けられている。
洗面台の下部には車椅子使用者の膝が入るスペース(下端高さ:70cm)が確保されている。
出入口の戸は、軽い力で動かすことができるよう、片引き戸となっている(車椅子使用者が出入り可能な有効幅員をできる限り確保するため、ドアの引手は引き残しの不要な形状(戸袋埋め込み)となっている)。
戸の鍵は施錠の動作が簡単なプッシュ型となっている。



備品(タブレット)によるコミュニケーション

金額表示が見えやすいよう、会計にはタブレットを使用、現金支払いだけでなく、キャッシュレス支払いにも対応している。
聴覚障害のある利用者とのコミュニケーションには、声⇄文字の変換、手書きが可能なアプリ(タブレット)が使用されている。

ホームページによる情報提供

ホームページでは、車椅子に乗ったまま理容が行えること等の情報提供がされている。

15 川口市駅東口地下駐車場

ソフト・ハードの両面から配慮して整備された駐車場

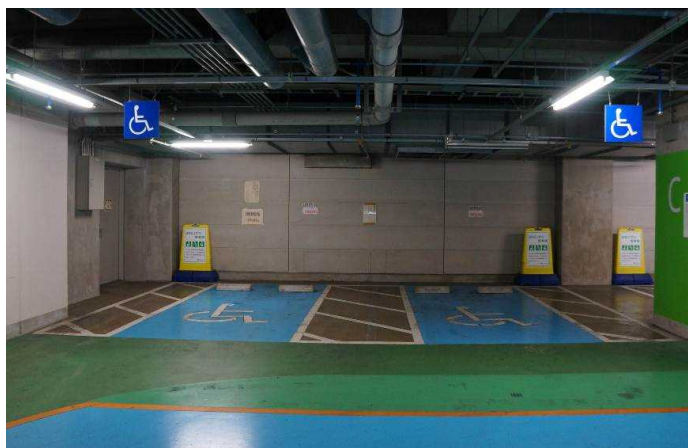
本施設は、川口市駅前再開発事業において整備されたキュポ・ラ(商業施設、図書館等の公共施設、住宅の複合建築物)の地下に立地する川口市営の駐車場である。
車椅子使用者用駐車施設(思いやり駐車場)の整備とあわせて、エレベーターに近い位置の利用を必要とする利用者のための優先スペースが設けられている。
思いやり駐車場は、川口市がパーキング・パーミッション制度によって運営しており、ハードの整備と運営面の工夫によって真に必要な利用者の優先権を確保している。

- ・ 車椅子使用者用駐車施設は、計 5 台、上階のキュポ・ラにつながるエレベーターから最も近い位置に配置されている。
- ・ 車椅子使用者用駐車施設は、床を青色に塗装し、また車の乗降の際に必要な幅員を確保している。
- ・ 優先スペースは計 6 台、車椅子使用者等以外の利用者(例高齢者)で、エレベーターに近い駐車場を必要とする人のために確保したスペースである。
- ・ 優先スペースは、床をピンク色に塗装し、他と区別できるようにしている。
- ・ 優先スペースは一般と同様の寸法である。
- ・ パーキング・パーミッション制度には公民合わせて市内 126 施設が参加(2012 年 1 月現在)。この制度等は川口市バリアフリー基本構想に基づき、計画・運用されている。



A 駐車場出入口

用 途	自動車庫(路外駐車場)
所 在 地	川口市川口
設 計 者	エイアンドティ建築研究所
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造
階 数	地下2階
建築面積	9,994 m ²
竣 工	2007 年 4 月
用 途	駐車場 248 台分



B 車椅子使用者用駐車施設(思いやり駐車場)

案内表示は床面及び上部に取り付けられている。
駐車スペースは青色に塗装されている。



地下1階平面図

- 車椅子使用者用駐車場の他に、高齢者等のための優先スペースを整備
- パーキング・パーミッション制度による車椅子使用者用駐車施設等の運営



C 満車／空車を示すサイン

駐車場出入口での満車の表示は、一般向けと車椅子使用者用駐車施設で分けて表示される。



D おもいやり駐車場サイン

車椅子使用者用駐車施設の利用には、川口市が発行する利用者証が必要である旨を示している。



E 優先スペース

車椅子使用者等以外の利用で、エレベーターに近い位置の利用が必要な人のための駐車スペース。一般と同様の寸法であるが、色を塗り分けてある。



F 優先スペースに設けられたサイン

駐車スペースの塗り分けとあわせてサインを設けることにより、優先スペースの対象とする利用者をわかりやすく示している。



G 券売機

障害者手帳保持者への割引を示している。



H 車椅子使用者用トイレ

キュポ・ラ内部に多様な利用者に配慮された便所があるため、駐車場には車椅子使用者用トイレ（乳幼児用椅子を配置）を整備している。

16 坂戸駅北口公衆便所

駅舎から連続的にバリアフリー整備されている公衆便所

東武鉄道坂戸駅舎の建て替えにあたって、坂戸市と東武鉄道が共同で事業を実施し駅舎とそれ以外の部分のバリアフリー整備を連続的に実施した事例である。

ここでいう駅舎とは厳密には改札より内側をさし、改札より外側は管理者が異なる。したがって連続的にバリアフリー整備を実施するためには、建物所有者間の綿密な連携が不可欠であった。両者が連携したことによって、駅改札から市が管理する公衆便所まで途切れることなく視覚障害者誘導用ブロックが敷設されている。

- ・ 便所の整備にあたっては、トイレメーカー2社からの提案を受けた。
- ・ 計画段階で、専門家および障害者団体などの意見を取り入れた。
- ・ 本施設は駅舎階段下のスペースを使って整備されている。コンパクトではあるが必要な設備は十分に備えた快適な空間に仕上がっている。
- ・ 男女の便所のほか、男女共用で車椅子使用者等にも使いやすい便房が設置されている。車椅子使用者のための回転スペース、手すり、オストメイト用流し、子ども用椅子、大型ベッドが設置されている。
- ・ 男女の便房内にオムツ交換用ベッド、子ども用椅子、手すりが設置された大き目の便房が設置されている。
- ・ 駅舎から視覚障害者誘導用ブロックを連続的に敷設し、便所入り口の点字付き触知図まで誘導している。
- ・ 案内表示は色使い、大きさなどで、はっきりと男女の区別ができる、便房内に配置された機能が外からわかるなどの工夫をした。
- ・ 管理の容易性と快適性の両面からデザインを工夫している。
- ・ 本施設の管理者は坂戸市であるが、警報ボタンの作動、病人、使用上の問題などがある場合には市が委託している警備会社に対応するシステムとなっている。実際には、駅員が様子を確認し警備会社に通報することも多い。
- ・ 便所内の倉庫には、大災害に備え毛布や飲料水などを備蓄している。

用 途	公衆便所
所 在 地	埼玉県坂戸市日の出町
設 計 者	東武谷内田建設株式会社
アドバイザー	東洋大学教授 高橋儀平
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造
階 数	地上2階部分の1階
建 築 面 積	58.6 m ²
竣 工	2011年9月
用 途	公衆便所



A 車椅子使用者等用便房入口ドア
内部に配置されている設備のピクトグラムをデザインした、自動式引戸になっている。



B 多機能便房 (男女共用)内部
手すり、手洗い水洗、オストメイト用汚物流し、大型ベッド、子ども用椅子を整備し、車椅子回転用のスペースを確保している。



C 乳幼児連れに配慮した便房

手すり、おむつ替え用ベッド、子ども用椅子を設置している。(乳幼児連れに配慮した便房は、男女便所に一か所ずつ整備されている。)

- 異なる事業主体間での連続的バリアフリー整備
- 車椅子使用者等用便房と一般の便房に機能を分散



D 視覚障害者誘導用ブロック

駅改札口から公衆便所の案内表示板及びエレベーターまで、視覚障害者誘導用ブロックを敷設している。



E 便所入り口上部サイン

便所に設置された機能を示している。



F サイン1

男女の便所の位置をわかりやすく表示するサイン



G サイン2

乳幼児連れに配慮した便房のドアに設置されたサイン



H 入口に設置された触知案内掲示板



I 手すりの設置された男性用小便器

三か所の小便器のうち一か所に、手すりが設置されている。

17 音羽山清水寺(京都府京都市)

バリアフリー改修により、国内及び海外からの多くの観光客等、訪れる誰もが楽しむことのできる歴史的、伝統的な文化財等の観光施設

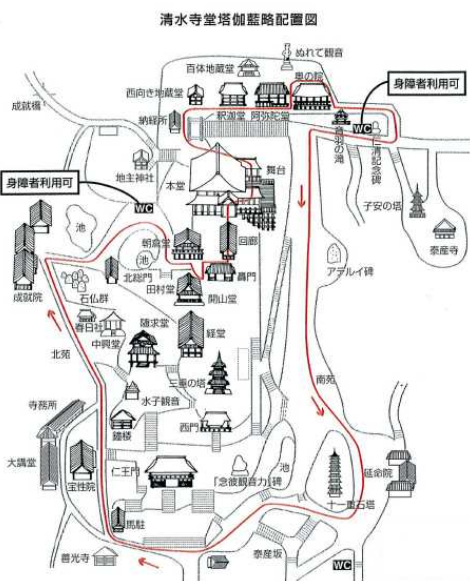
- 駐車場等から車椅子で移動しやすい敷地内の経路を確保
- 傾斜路により出入口の高低差等を解消
- 車椅子使用者用便房を設置

清水寺では、山裾に位置する傾斜地の境内に国宝の本堂をはじめ数多くの重要文化財の建造物等が建ち並んでおり、バリアフリー化には厳しい条件下にあるが、関係機関と協議を重ね、文化財の保護や景観保全への配慮をしつつ、できる限り車椅子でも境内を周遊できるよう、これらの間を結ぶ段差のない舗装参拝路や建物内外の段差を解消するスロープ板などを随所に整備した。

そのほか、音羽の滝周辺の階段部も大規模改修でスロープ化、境内一周参拝ルートを整備、参拝ルート上への複数の多機能トイレの設置、拝観入口付近までの車のアクセス確保等を行っている。



A 舞台



赤い線の順路にそって進んで頂ければ、境内を一周していただけます。
順路の途中から引き返して頂く事も可能です。
途中、砂利道、坂道もございますので十分気をつけてお参りください。
ご参拝ありがとうございます。 合掌



E 千体石仏群の前の車椅子用舗装部



C 音羽の滝付近の参拝路
従前、階段が多く段差が解消されていなかったが、風致を損ねることなく参拝路をスロープ化することで、境内を一周できる段差のない参拝ルートの整備を完成させた。



D 車椅子用舗装部

B 車椅子境内参拝マップ

車椅子境内参拝マップはホームページからダウンロード可能なほか、境内・轟門でも配布している。



F 本堂横のスロープ



H 音羽の滝付近の多機能便房



G 本堂に設けられたスロープ



J トイレの案内表示



I 多機能便房

段差を解消した参拝ルート上の3つのポイントに多機能トイレを設置している(うち1箇所は京都市による整備)。

18 善光寺(長野県長野市)

バリアフリー改修により、国内及び海外からの多くの観光客等、訪れる誰もが楽しむことのできる歴史的、伝統的な文化財等の観光施設

- 駐車場等から車椅子で移動しやすい敷地内の経路を確保
- 傾斜路により出入口の高低差等を解消
- 車椅子使用者用便房を設置

善光寺では、1997 年の前立本尊御開帳、1998 年の長野冬期オリンピック・パラリンピックの開催等にあわせ、本堂(国宝)に傷をつけることなく、仮設としてスロープを設置した。

このときに設置した仮設スロープを、現在も本設スロープとして活用するとともに、車椅子使用者用トイレの整備等を行い、境内のバリアフリー化を図っている。



A 本堂

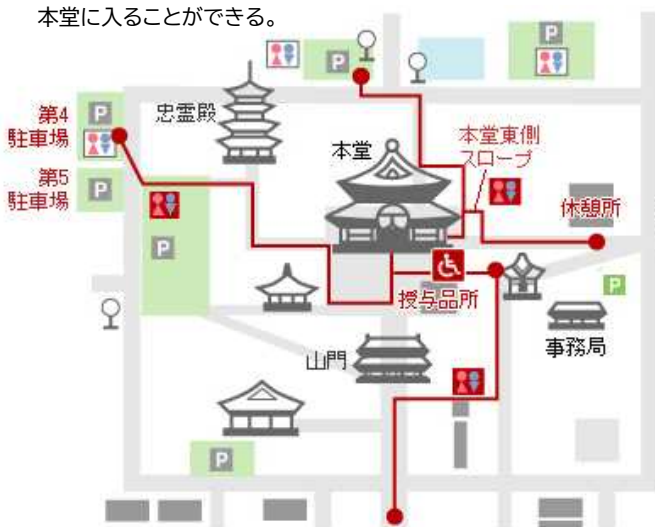


B 本堂東側スロープ

本堂と違和感のないデザインのスロープで、車椅子のまま本堂に入ることができます。



C 本堂に設けられたスロープ



- 車椅子でも通行しやすいルート
- 車椅子対応お手洗い
- 車椅子貸出所
- 身体障害者専用駐車場

D 車椅子で参拝しやすいルートのマップ

マップは、ホームページからダウンロード可能となっている。境内の主な参道は石畳などで舗装され、傾斜も比較的ゆるやかなため、車椅子でほぼ通行可能となっている。



E 車椅子使用者用便房のあるトイレ



F トイレの出入口

車椅子専用トイレ(左)と乳幼児用トイレ(右)を案内表示で示している。



G 車椅子使用者用便房

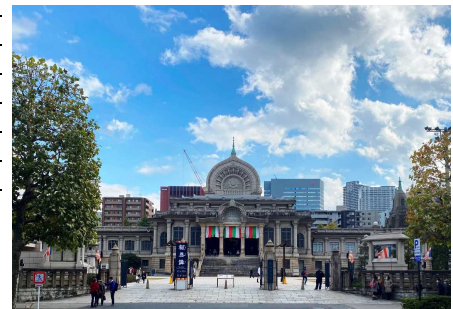
オストメイト用設備等が設けられている。

19 築地本願寺

障害当事者を含む専門会社の提案意見を取り入れ、改修・改善を進める歴史的建築物

築地本願寺は、1617年創建、浄土真宗本願寺派の関東における拠点である。現在の本堂は、関東大震災の後、1934年に再建され（設計：伊藤忠太）、2014年12月に重要文化財に指定された。1998年に、本館に傾斜路、エレベーター、車椅子使用者用便房が設けられ、さらに2019年には車椅子使用者（障害当事者）を含む専門の調査・コンサルティング会社による施設内のバリアフリー対応に関する調査・提案を受け、案内表示等の改善が実施されている。

用途	寺院
所在地	東京都中央区築地
設計者	(当初)伊藤忠太
構造	鉄筋コンクリート造
階数	2階 一部地下1階
建築面積	3149.40㎡
竣工	1934年
延床面積	本堂：6482.63㎡ 第一伝道会館：666.19㎡ 第二伝道会館：2320.82㎡ インフォメーションセンター：884.45㎡
付帯施設	駐車場 50台程度 (うち車椅子使用者用駐車施設 1台) 駐輪場は若干台



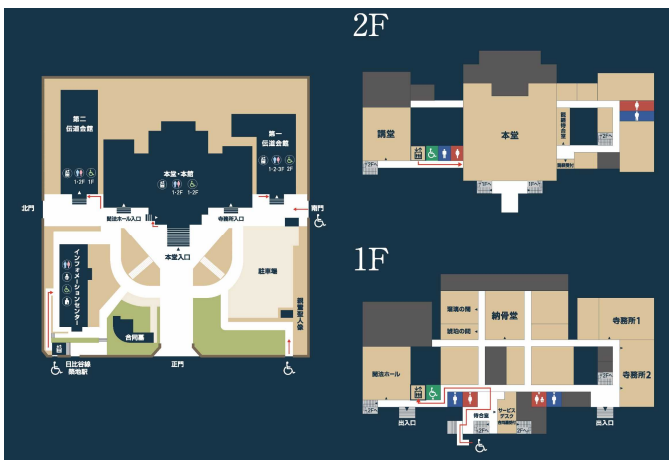
施設外観

専門の調査・コンサルティング会社による調査の概要

アクセシビリティ、ユーザビリティの課題を抽出するため、施設内の各種設備や各サインの情報について、必要な情報が発信され誘導がなされるか、視認性に不足がないかなど車椅子ユーザーのサイン専門スタッフによる現地調査が行われている。

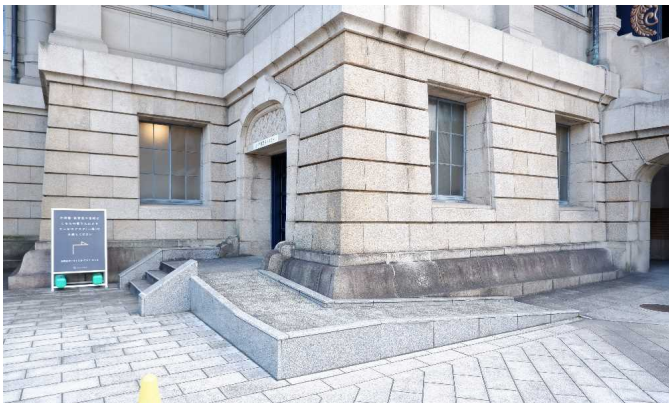
調査の対象とした設備は以下の通り

- ・出入口及びスロープや戸
- ・車椅子使用者用便房
- ・階段・段差
- ・誘導サイン・マップ



全体配置図(HP掲載の案内図)

調査による提案を受けて、文字の大きさの変更やエレベーターを利用したバリアフリー経路等の表示が実施されている。



出入口(本堂)の傾斜路

出入口の階段には傾斜路が併設されている(調査による提案を受けて、手すり設置による安全対策を2020年度中に実施する方針)。

◆本堂2F 階段の課題

以下の3つの課題があげられ、危険性が特に高い状態であると言えます。

- ・段鼻の明度比が低く、視認性が低い。
- ・段差の高さ・踏面が不均一であるため、高さ感覚が掴みづらい。
- ・転倒防止につながる手すりが設置されていない。

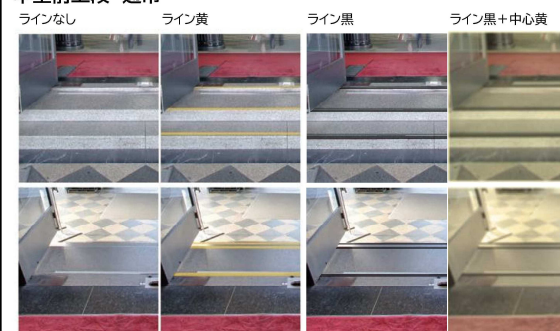


現状の段差

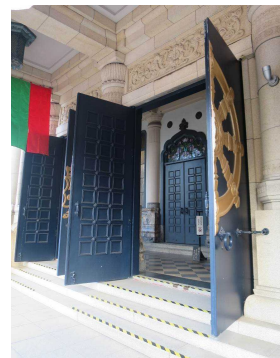


白内障シミュレーション

本堂前上段 通常

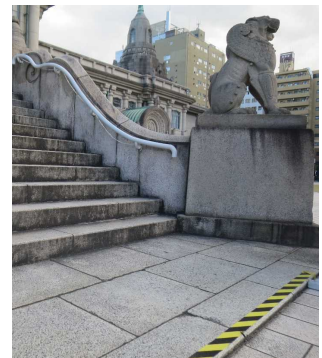


資料出典：「築地本願寺」施設・サイン調査報告書(抜粋)
2019年12月27日株式会社ミライロ



階段(本堂)

調査による提案を受けて、階段の段鼻には、注意喚起のため端部の色の塗分けがされている(柄については継続検討中)。



- 車椅子使用者の利用が可能となるよう、改修により傾斜路やエレベーター、車椅子使用者用便房を設置
- 施設内のバリアフリー対応について専門会社による調査を実施し、案内表示等を改善(順次、継続検討)



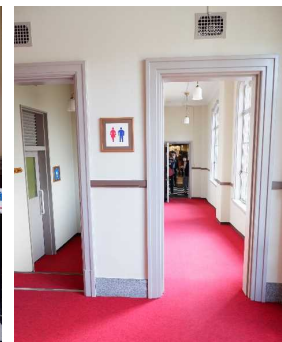
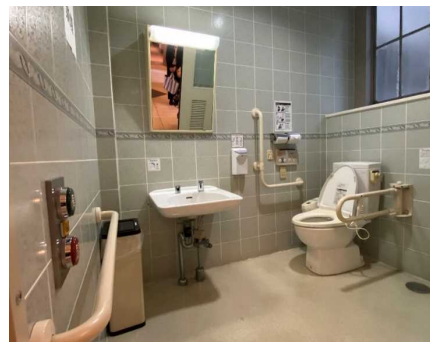
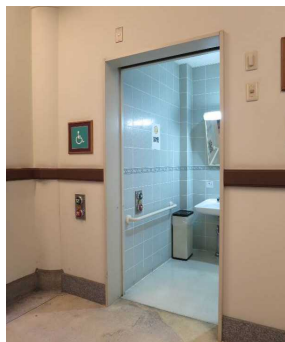
9人乗の車椅子対応エレベーター(本堂)の増設

1階:廊下の一部、2階:居室だったスペースを活用し、床に開口を開け、1998年に改修により整備された。



控室(本堂)の傾斜路

室内の段差解消のため、傾斜路が設けられている。



車椅子使用者用便房(本堂)

1998年に改修により整備された(調査による提案を受けて、紙巻器の位置の改善を2020年度中に実施する方針)。

段に併設された傾斜路(本堂)

エレベーターから本堂に至る廊下には段があるが、傾斜路が併設されている。



車椅子使用者用駐車施設

第一伝道会館の前には車椅子使用者用駐車施設が設けられている。



貸出し備品

車椅子の貸出しを行っている。

ピクトグラムを用いた案内板

段差のない出入口の位置、エレベーター、車椅子使用者用便房等がピクトグラムにより示されている。



車椅子使用者用便房、授乳室(インフォメーションセンター)

本堂とは別棟のインフォメーションセンターには車椅子使用者用便房、授乳室が設けられている。車椅子使用者用便房にはオストメイト用設備、乳幼児用椅子、乳幼児用おむつ交換台が付加されている。

